

平成20年度の各事業は、6つの特別展、企画展、記念展示と9つのプラネタリウム番組の投映等の活動を行いました。その結果、1年間の観覧者数は、前年度に続いて10万人を超えました。

展覧会については、「ル・コルビュジエ 光の遺産」展や「歓喜する岡本太郎」展など話題性の高いものを開催するとともに例年の学習支援展示の拡大版「昭和はくぶつかん」を前年度に引き続き開催しました。また、市制111周年記念展示として「四日市場から四日市へ」を開催し、「郷土を愛する心を育む」ことに努めました。

プラネタリウムについては、本年が、イタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイが自ら製作した望遠鏡で天体観測をしてちょうど400年という節目の年にあたることから、ガリレオに因んだ自主制作番組「その時地球が動いた」や四日市市内を取材して製作した「ふるさとの星」など話題性や地域性に富む番組を投映するなど「科学する心を育む」ことに努めました。

当館では、学校教育への支援にも力を入れ、特に天文事業では、従来の学校からの団体見学に加えて、移動式プラネタリウムによる中学校への連携授業や立体映像システムによる小学校への連携授業を行い、学校での授業がより豊かなものとなるとともに、近年の理科離れ対策となるよう努めました。

今後も博物館は、策定した「四日市市立博物館の使命」を果たすため日々努めてまいります。

なお、全編にわたり個人・団体の敬称は略させていただきました。

平成21年6月
四日市市立博物館



四日市市立博物館の使命

1. 市民の創造性を高めます
2. 郷土を大切に作る心を育みます
3. 世代をつなぎます
4. 歴史を未来に活かします
5. 学校教育をより豊かなものにします

目 次

I	事業概要	
1	博物館事業	
1	常設展示	3
2	企画・特別展示	3
3	教育普及事業	7
4	資料収集保存事業	10
5	調査研究事業	13
2	プラネタリウム投映事業	
1	天文展示	13
2	投映活動	14
3	天文教育普及事業	19
II	管理・運営	
1	組織	22
2	予算	23
3	博物館協議会	24
4	施設の利用	24
5	年報の発行	26
6	利用状況	26
7	関係法規	29
III	施設概要	34
IV	利用案内	37

事業概要

1 博物館事業

1 常設展示

基本テーマ「伊勢湾と鈴鹿山脈のある四日市の文化と生活環境」をもとに、地質時代から現代までの四日市市及び北勢地域のあゆみを、「北勢地域のおいたちと自然環境」、「原始・古代の人びとの生活」、「四日市と四日市庭浦の成立」、「東海道と伊勢参宮道の賑わい」、「四日市港と近代産業の発展」、「戦災からの復興と都市の創造」の六つのテーマで構成し、その時代の特色を浮き立たせるよう工夫している。

コーナー展示では、戦前に東海地方有数の祭りであった「四日市祭」と、「浮世絵」に描かれた四日市の展示を行っている。

また、文化勲章受章作家で名誉市民の丹羽文雄の業績を永く伝えていくために、丹羽文雄記念室を平成18年12月9日に開館した。



平成20年度常設展示

開館日数 297日
観覧者数 28,781人
観覧料 無料

2 企画・特別展示

本年度は、五つの展覧会と、共催事業として「第50回北勢地区高等学校美術展」を開催し、幅広い年代層に訴えることができた。

(1) 特別展1 「20世紀モダニズム建築の巨匠 ル・コルビュジエ 光の遺産」展

[主催] 四日市市立博物館・中日新聞社

[後援] フランス大使館

[助成] (財)岡田文化財団

■会期：4月26日(土)～6月24日(日) 50日間

■観覧者数：8,081人

■観覧料：一般800円、高校大学生500円、中学生以下無料

■関連行事：

①子ども博物館教室ワークショップ

「さあ、君も建築家だ！夢の家をつくろう」

日時：5月17日(土)10:00～

講師：野口 裕(当館指導主事)

参加者：小学生24人

②講演会【2008年国際博物館の日 記念事業】

「ル・コルビュジエの絵画と建築」

日時：6月1日(日)10:00～12:00

講師：林 美佐(大成建設ギャラリー・タイセイ学芸員)

参加者：127人



■担当者所感(企画普及係 野口 裕)

8,000人を越える入館者を会期中に迎えることができた。アンケート結果から、入館者の60%が県外(県外のうち86%が愛知県)からの来館であった。また、70%の人が「初めて」の入館者であっ

た。年齢層も 30 代：28%、20 代：19%、20 歳未満：17%と 30 代以下が 6 割を越えることも今までの展覧会とは異なる客層にアピールできたといえる。

また、関連行事として、一般対象には、林美佐氏（大成建設 ギャラリー・タイセイ学芸員）の講演会を実施した。定員をはるかに超える来館者であった。子ども対象には当館職員による建築模型づくり教室を実施したところ、いずれも盛況で、所期の目的を達成することができたと思われる。

「博物館」に親しむためにも、まずは「博物館」に足を運ぶことが大切であり、人と人をつなぐ場所として、多様なジャンルの内容のものを吟味し今後も取り上げることで文化に対する理解を深め、広い視野から「博物館」を見つめなおす機会を提供することが必要であると感じた。

(2) 特別展2 「おもちゃと模型のワンダーランド展」

[主催] 四日市市立博物館

[助成] (財)岡田文化財団

[特別協力]株式会社バンダイ

[協力]財団法人 日本玩具文化財団

[制作協力]NHK プロモーション

■会期：7月5日(土)～9月7日(日) 56日間

■観覧者数：9,490人

■観覧料：一般600円、高校大学生400円、中学生以下無料

■関連行事

・講演会：「アメリカのおもちゃ」(日本語) 8月17日(土)

講師：マット・ジョーンズ

・子ども博物館教室：「おもちゃを手作りしよう」 7月26日(土)

・4階ラウンジ 「四日市レールファンクラブ」運転会

7月19日(土)～8月10日(日)の土・日・祝

「ミニチュアモデルの世界」

8月13日(水)～9月7日(日)

■同時開催(市民ギャラリー)

「三重のおもちゃたち展」(三重県立博物館移動博物館事業)

同展の関連事業として「ものづくり教室」を7月27日(日)に開催

■担当者所感(企画普及係 秦昌弘)

バンダイコレクションから、18世紀後半から現在までの代表的な、ヨーロッパ、アメリカ、日本で作られた300点を精選して紹介した展覧会であった。日々の生活に追われる現代社会にあって、子どもと大人が一緒になって〈遊ぶ〉ことが難しい時代にあるなか、おもちゃを通して、夏休みの思い出が一つ増える楽しいものとなった。

(3) 特別展3 「2008 イタリア・ボローニャ国際絵本原画」展

[主催] 四日市市立博物館・(社)日本国際児童図書評議会

[共催] 中日新聞社

[助成] (財)岡田文化財団

■会期：10月4日(土)～11月3日(月・祝) 27日間

■観覧者数：6,159人

■観覧料：一般700円、高校大学生500円、中学生以下無料

■関連行事

・子ども博物館教室「自分だけの絵本をつくろう」

日時：10月4日(土)14時～

講師：野口 裕(当館指導主事)



参加者：小学生 27 人

- ・ 子どものためのワークショップ「スズキコージとあそぼう！」

日 時：10 月 18 日（土）10 時～

講 師：スズキコージ（絵本作家）

増田 喜昭（子どもの本専門店

「メリーゴーランド」店主）

参加者：小学生 20 人



■ 担当者所感（企画普及係 野口裕）

天候にも恵まれ、6,000 人を越える入館者を会期中に迎えることができた。アンケート結果から、入館者の 20%が学校でのポスター掲示やチラシ配布で知ったと答えている。今回は四日市市内だけでなく鈴鹿、桑名、いなべ市内の小中学校には全員配布をしたが、その成果であろう。次に、ロコミで展覧会を知ったが 18%、新聞からが 17%であった。広報は中日新聞の連載を中心にしただけであるので、「もっと広く知らせてほしい」などの声もあり、今後の課題となった。また、ボローニャ展も当館で 7 回の開催を数え、前回、前々回からのリピーターも多く、県内外からのボローニャファンが来館する傾向は変わらない。

入館者の年齢層も 30 歳代までの入館者が全体の 58%、40 歳代までで実に全体の 81%を占める展覧会であることから、普段博物館に疎遠な世代に対して目を向けさせる役割を果たす展覧会であったと言える。

関連行事として子ども対象に、絵本作家 スズキコージ氏とメリーゴーランド店主 増田喜昭氏によるワークショップと当館職員による絵本作り教室を実施した。いずれも盛況で、所期の目的を達成することができたと思われる。

今回は、関連行事に加え、参加型の取り組みとして 1 階ロビーに前回も行った「感想画コーナー」を設置した。期間中 700 枚を超える感想画を描いてもらい、掲示することができた。「感想画コーナーは子どもに好評でした」という声も多くあり、休日など親子で感想画を描く姿が途切れることがないくらい、こちらも盛況であった。また、今回新たに「スタンプラリーが楽しめるクイズ形式のワークシート」を試みてみた。中学生以下の子どもたちが楽しく鑑賞できるようにと用意したが、子どもたちだけでなく大人にも大変好評で、「大人向けのものも用意してほしい」という声もあった。



博物館に親しむためにも、生涯学習の一環としても、家族で楽しむ場としても絵本原画展はこれからも多様なワークショップやワークシート、スタンプラリーなど入館者が楽しく参加できるものを企画していくことが必要であると感じた。

(4) 特別展 4 「歓喜する岡本太郎」展

[主催] 四日市市立博物館

[助成] (財)岡田文化財団

[協力] 川崎市岡本太郎美術館
岡本太郎記念館

■ 会期：11 月 15 日（土）～平成 21 年 1 月 12 日（月） 44 日間

■ 観覧者数：7,214 人

■ 観覧料：一般 600 円、高校大学生 500 円、中学生以下無料

■ 関連行事

- ・ 記念講演会

「駆け抜けた岡本太郎—その人と仕事」 11 月 29 日（土）

講師 村田慶之輔（川崎市岡本太郎美術館 館長）

- ・ ワークショップ



「芸術は爆発だ！！大きな絵をかこう」11月15日（土）

- ・ ギャラリートーク
会期中の土曜日または日曜日に実施。（6回）

■担当者所感（秦 昌弘）

本展は、戦後日本の代表的な芸術家であった岡本太郎の作品を絵画と立体物を中心に紹介した展覧会であった。

絵画については、初期では「空間」、「夜」、「森の掟」、中期では「千手」、「顔VI」、後期では「遭遇」というように主要作品で構成した。

また、立体物については、「河童像」、「子どもの樹」、「坐ることを拒否する椅子」など、この分野でも代表作で振り返ることが出来た。

さらには、岡本太郎の畢生の大作である「明日の神話」（油彩）を展示した。この作品の壁画公開（渋谷駅）、が展覧会開幕二日後であり、その意味でもタイムリーな企画となった。

（5）企画展 「昭和はくぶつかん—うつりゆく暮らしとまち」展

[主催] 四日市市立博物館

[助成] (財) 岡田文化財団

■会期：1月31日（土）～3月22日（日） 44日間

■観覧者数：7,403人

■観覧料：一般300円、高校大学生100円、中学生以下無料

■子ども博物館教室

①暮らしの道具をつかってみよう 2月1日（日）2月21日（土）

②昭和っこのあそびをしよう 2月7日（土）2月22日（日）

③おやつをつくろう 2月8日（日）2月28日（土）

■ミュージアムコンサート 3月7日（土）

演奏 鈴鹿マンドリンクラブ



■担当者所感（企画普及係 中野千幸）

会期中は、市内外から、43校園の子どもたちが連日のように来館し、職員とボランティアが付き添って解説したり、子どもたちに実物資料を触らせたりしながら学習活動を展開することができ、所期の目的を達成できたものと思われまます。また、会期中に資料寄贈の申し出をたくさんいただいたことも、博物館活動の理解浸透につながったと思われまます。

（6）共催展 「第50回北勢地区高等学校美術展」

北勢地区の高等学校美術部の生徒が授業などで制作した作品を中心に展示した。

[主催] 三重県高等学校文化連盟、三重県教育委員会、
四日市市立博物館

■会期：1月20日（火）～25日（日） 6日間

■観覧者数：390人

■観覧料：無料



（7）学習支援展示

「大昔の四日市—弥生時代と古墳時代」

4月19日（土）～6月8日（日） 44日間

小学校6年生で学習する石器や土器・埴輪などを展示し、あわせてレプリカによる体験コーナーを設置して、日本史の学び初めを支援した。

「四日市空襲と戦時下の暮らし」

6月14日(土)～8月31日(日) 68日間

平和学習の支援を目的に、四日市空襲による火災で溶けた貨幣やガラスなど空襲のようすや、衣料切符などの戦時中の暮らしのようすがわかる資料を展示した。

「むかしの暮らし」 12月20日(土)～平成21年3月22日(日)
55日間

3階サルビアギャラリー(1月25日まで)及び1月31日からは企画展「昭和はくぶつかん」の一部として、4階特別展示室にて小学校3年生で学習する昔の暮らしのようすがわかる生活道具を展示し、実際に触ったり動かしたり体験しながら学習を支援した。



(8) 市制111周年記念展示

「四日市場から四日市へ」

～街道・海路・そして～ 9月27日(土)～11月30日(日) 56日間

「市のたつ港町」として中世に発祥した四日市が、地の利を活かして発展してきたまちのようすを、東海道と四日市港に焦点をあてて紹介した。

3 教育普及事業

地域の教育力である博物館の重要な機能として、展示・公開、調査・研究と並んで教育・普及がある。

当館では、市民の学習意欲の向上と知的欲求を満たすという任務を果たすため、従来から力を注いでいる。また、博物館が市民にとってより身近で親しめる場となるよう、さまざまな年齢層に応じた各種講座や講演会を開催している。なかでも、子どもを対象とした活動は未来への投資と考え、重点を置いている。子ども博物館教室では、展覧会の内容をより親しみやすいものとする体験活動と歴史的事象を迫体験する活動とを中心に行った。学校からの団体見学では、体験用キットを整え、興味をもって展示の見学ができるような方法を工夫している。いずれも、館職員と学習支援ボランティアとが協働し、子ども達へのきめ細かい働きかけを大切にしている。このほか、小中学校の総合的な学習の支援、中学生の職場体験、高校生のための博物館教室や大学生の博物館実習、学校利用を促進する目的から教員のための博物館教室を実施した。

(1) 博物館教室

①子ども博物館教室

・ワークショップ(10:00～)

月 日	曜	テーマ	参加者
5月17日	土	さあ、君も建築家だ！ 夢の家をつくろう	24人
6月14日	土	四日市空襲のおはなしを聞こう	26人
7月19日	土	博物館を探検しよう！	15人
7月26日	土	おもちゃを手づくりしよう	38人
10月4日	土	絵本をつくろう	27人
11月15日	土	芸術は爆発だ！大きな絵をかこう	23人



・古代米づくりと土器づくり

月 日	曜	活 動 内 容	参加者
5月11日	日	古代米の田植え	26人
6月7日	土	土器づくり	30人
7月12日	土	田の草取り	25人
8月9日	土	土器の野焼き	21人
10月11日	土	石包丁で稲刈り	27人
11月1日	日	たて杆と臼で脱穀	28人
11月12日	土	土器で炊飯	25人



・むかし体験シリーズ

月 日	曜	活 動 内 容	参加者
2月1日	日	暮らしの道具をつかってみよう	10人
2月21日	土		21人
2月7日	土	昭和っ子のあそびをしよう	30人
2月22日	日		26人
2月8日	日	おやつをつくろう	15人
2月28日	土		33人



(2) 講演会 (一般対象)

・ミュージアムセミナー テーマ：歴史の市場 [場所：1階講座室]

月 日	曜	演 題	講 師	参加者
6月14日	土	遺跡が語る古代四日市	岡田 登 (皇學館大学教授)	32人
7月5日	土	四日「市」の成立	播磨良紀 (四日市大学教授)	23人
9月6日	土	萬古研究最前線	井上喜久男 (愛知県陶磁資料館)	24人
10月18日	土	私を育んだ街 我が四日市に寄せて	岡田卓也 (イオン(株)名誉会長相談役)	100人
11月8日	土	近代四日市港を開く 稲葉三右衛門の資料から	中野千幸 (当館学芸員)	26人
12月6日	土	視点・伊藤利彦の見た世界	野口 裕 (当館学芸員)	5人
2月28日	土	丹羽文雄作品に描かれた四日市	秦 昌弘 (当館学芸員)	49人

(3) 教員のための体験的博物館研修

教職員の博物館に対する理解を深めるとともに、博物館の教育力を学校教育にいかに関活用できるかを考える機会として、実技・実習を主とする研修会を実施した。

8月19日(火) 参加者 12人

(4) 博物館実習

7月29日(火)～8月1日(金) 共通実習

8月2日(土)～31日(金) (2日程度) 個別実習

受講生 17人 (12大学)

三重大大学	4人	名古屋芸術大学	3人	皇學館大学	1人	桃花学園大学	1人
立正大学	1人	名古屋造形大学	1人	同志社大学	1人	金城学院大学	1人
宇都宮大学	1人	都留文科大学	1人	京都府立大学	1人	京都光華大学	1人

7月29日(火)	9:00~	9:20~	10:00~	13:10~	15:25~
	館長挨拶 日程説明 自己紹介	日程説明 個別実習 打ち合わせ	館内施設見学	博物館の教育普及事業について	課題説明 グループ編成
7月30日(水)	9:00~	10:30~	13:10~	15:00~	
	博物館資料の調査・収集・保存について	考古資料の取り扱いについて	歴史資料の取り扱いについて	課題準備	
7月31日(木)	9:00~		13:10~	16:00~	
	天文普及事業について ~これが四日市のプラネタリウムだ!~		天文普及事業を体験する	課題準備	
8月1日(金)	9:00~	10:30~	13:30~	15:45~	
	展覧会・丹羽記念室 ガイダンス	課題発表準備	課題発表	閉館行事	
個別実習	展覧会の会場系 聞き取りアンケート、資料整理 等(8月31日まで)				
課題	4~5人ずつの小グループで、博物館種加のある部分を取り上げ、レポートを作成し、発表する。				

(5) 博物館ボランティア (登録者 84人)

展覧会ごとに事前研修を実施し、さらにボランティア各自の自主学習の成果をもとに、来館者への解説サービス活動を行った。

展 覧 会 名	開催日数	活動延べ人数
20世紀モダニズム建築の巨匠ル・コルビュジェ 光の遺産展	50	227
おもちゃと模型のワンダーランド展	56	248
2008 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展	27	155
歓喜する岡本太郎展	44	185
昭和はくぶつかん—うつりゆく暮らしとまち—	55	284
合 計	221	1,099

(6) 学習支援ボランティア (登録者 15人)

学校団体が学習支援展示の見学をする時や子ども博物館教室での子ども達の活動をサポートし、きめ細かい学習の支援を行った。

- ・学習支援展示見学対応 活動延べ人数：315人
- ・子ども博物館教室活動対応 活動延べ人数：65人

(7) 古文書ボランティア (登録者 33人)

昨年度に引き続き、「清水本陣文書」の翻刻作業を進めた。2チームに分けて月2回ずつ、当館にて活動し、その成果については今後発表していく予定である。

(8) 入館者調査

今後の博物館のあり方や、企画、運営等に資するため、各企画展・特別展ごとに「入館者アンケート」を実施し、入館者の情報分析を実施。市民、利用者側のニーズの把握に努めた。

(9) 講師等派遣活動

地区市民センター等館外で行われる講演会等への講師派遣を実施している。博物館の担うべき教育普及機能としての活動、市民の学習意欲を高めるための活動、また、博物館に親しんでもらうための活動として積極的に対応しているところである。今年度は「近代四日市港の修築」、「四日市空襲」、「東海道

と四日市宿」、「丹羽文雄の文学」、「博物館ってどんなところ？」などのテーマで、計 11 回出講した。聴講者は 486 人。

(10) 広報活動

企画展・特別展をはじめとする各事業の広報は、市広報の活用はもちろん、タウン誌・各報道機関への情報提供（記者発表・資料提供等）、生涯学習・学校教育機関、地区市民センターその他公共施設及び商業施設へのポスター・チラシの配布・掲示を中心に行った。また、テレビ等への視聴者サービスを行うなど、多角的に取り組んだ。ホームページについては、タイムリーでわかりやすい情報提供を目指した。

4 資料収集保存事業

博物館の諸活動のなかで、最も基本となる活動として、各資料の収集を図り、その保存に努めた。

(1) 収蔵庫燻蒸 9月12日(金)～9月16日(火)＜この間、臨時休館＞

(2) 資料の状況 平成21年3月末現在

1 人 文 科 学 資 料	区 分	実 物・標 本	模写模型
	(1)考古	896	29
	(2)美術工芸	2,502	10
	(3)民俗	3,549	10
	(4)歴史	7,447	37
	(5)文学	4,475	0
	計	16,570	86
	図書	写真	その他
	8,578	67	110

2 自 然 科 学 資 料	区 分	実物標本	模写模型
	(1)動物資料	0	0
	(2)植物資料	3,272	0
	(3)地学資料	93	2
	(4)理工学資料	0	0
	(5)天文資料	7	0
	(6)その他	0	1
計	3,372	3	
	図書	写真	その他
	544	59	10

(3)新収蔵資料

購入資料

資料名・作者等	分類	購入年月日
紙看板「無二膏」	歴史	平成 20/07/10
教育的施設 夏季海浜聚落案内・三重県立第二中学校絵葉書	歴史	平成 20/07/10
新日本産業貿易・全日本農機具大博覧会案内 開会迫る四日市博のチラシ	歴史	平成 20/12/17
伊藤製糸場関係資料	歴史	平成 21/03/10
映画ポスター「にっぽんを叱るシャッター0」	歴史	平成 21/03/25
映画（日活）スチール写真「肉体の門」「春婦傳」	歴史	平成 21/03/25
映画（東映）写真とパンフ「肉体の門」	歴史	平成 21/03/25
映画（東宝）パンフ「東京の門」	歴史	平成 21/03/25

寄贈資料

資料名・作者等	分類	寄贈年月日
日本銀行券・東京オリンピック記念硬貨・昭和34年・41年発行100円銀貨	歴史	平成20/04/02
扇風機	民俗	平成20/04/08
蠅帳・蚊帳・真空管ラジオ・ボーリングゲーム・レーシングゲーム・ちゃぶ台(丸)・ちゃぶ台(角)・扇風機・丸型せいろ・おひつ・ふた(2点)・ふるい・こて台・陶製重箱(2点)・こて(2点)・和裁くけ台・弁当箱・編み籠・蛍光灯・たらい・国旗・ボール(6点)・料理本・和裁本(3点)・編み物本・楽譜集(2点)・四日市高校野球部優勝記念アルバム・SPレコード(6点)・ソノシート(9点)・EPレコード(24点)・LPレコード(19点)	民俗	平成20/04/09
数の世界	歴史	平成20/04/20
毛糸湯伸機・巾着化粧ポーチ	民俗	平成20/05/01
8mmカメラ(アルコ社製1台・キャノン社製2台)・カメラ(キャノン社製2台)・8mm編集機・映写機・8mm映画「D51輝かしい栄光を秘めて」・カメラ用品(3点)	民俗	平成20/05/01
丹羽文雄原稿「二十才のころ」	文学	平成20/05/06
日永尋常小学校授業料徴収簿・領収書	民俗	平成20/05/13
『俳文学こぼれ話』(岡本勝遺文集)	文学	平成20/05/13
四日市萬古 清水古流作急須・茶器(2点) 長谷川木阿弥作急須 山田北斗作茶筒	美術工芸	平成20/05/23
茶籠(一式)・釜	美術工芸	平成20/05/23
文学SOS(No.4)・あしたば(第48号) 津市出身の谷川士清についての作品(エッセイ)の掲載	文学	平成20/05/30
掛軸 伊藤小坡画「醍醐の花」	美術工芸	平成20/06/05
下士官兵旅客運賃割引證・個人金融通帳・臨時財産申告書・聴取無線電話私設許可書	歴史	平成20/07/16
ワープロ	民俗	平成20/07/30
焼夷弾 弾頭	歴史	平成20/08/04
国産振興四日市大博覧会絵葉書・川口七里の渡し絵葉書	歴史	平成20/08/27
LEGO(緑バケツ)・ブリキのおもちゃ(イエローキャブ)	民俗	平成20/09/09
LEGO(赤バケツ)	民俗	平成20/09/09
LEGO(紙箱)	民俗	平成20/09/09
着せ替え人形(ジェニー)・ジェニープリティールーム・ジェニーハウス・小物類(ジェニー用)・ワープロメイト・チャームセット	民俗	平成20/09/09
ファミリーコンピューター・スーパーファミコン	民俗	平成20/10/11
紙コロジー・おりひめ	民俗	平成20/10/18
『ジャスコ三十年史』・「イオン マガジン」(2008年6月 Vol.24)・DVD イオン創業250年VP「これまでも、これからも、お客さまとともに」	歴史	平成20/10/30
大阪万博ハンカチ	歴史	平成20/11/11
自治会関係資料(51点)市役所関係資料(14点)戦争関係資料(3点)	歴史	平成20/11/18
四日市築港写真帳	歴史	平成20/11/21
額装(岡本一平画)	美術工芸	平成20/12/18
『大塚家文書 文久元年 和宮様御下向ニ付中仙道宿 加助郷人馬諸入用割賦控 辛酉十二月 大塚桂蔵 他一冊』	歴史	平成20/12/20

弁当箱（昭和40年代）	民俗	平成21/01/06
カイロ	民俗	平成21/01/30
いぐささぶとん（5点）ペナント（3点）つめ切り（1点）三重国体関係（66点）	民俗	平成21/01/30
ファミリーコンピューター ソフト	民俗	平成21/01/30
三面鏡・靴箱	民俗	平成21/01/30
文具・りぼん なかよし付録・せんぬき	民俗	平成21/01/30
買物かご	民俗	平成21/01/30
乾電池クリーナー・大阪万博キーホルダー・布袋（2点）・手さげ袋・米袋・携帯用さぶとん	民俗	平成21/01/30
駄玩 カード・火薬鉄砲・プロマイド（浅丘ルリ子）	民俗	平成21/02/14
雑誌「東亜服装」・「アサヒグラフ増刊 ツタンカーメン展」・「アサヒグラフ増刊 中華人民共和国出土文物展」・「増刊女性セブンスキもの専科」・「太陽 名庭紀行」・「主婦之友 附録 字を上手に書く法」 大阪万博 記念ハンカチ	歴史・民俗	平成21/02/17
ステレオ	民俗	平成21/02/17
赤電話（公衆電話）・汽車土瓶・米穀類購入通帳	歴史・民俗	平成21/02/24
駄玩 メンコ・スーパーカー鉛筆・マッチガン・カード まんが（「週刊少年サンデー」「週刊少年キング」） 電話帳	民俗	平成21/02/25
柱時計	民俗	平成21/02/27
『ベレー帽の行方』（上坂高生著）・『いしぶみ』（No.91 2008・（H20）・秋号）	文学	平成21/03/01
片手桶・ひしゃく・一升杓・まな板・鯉節削り・おひつ（4点）・重箱（8点）・塗りの箱・菓子器・茶器入れ・火鉢（3点）・火ばし（4点）・針箱・ガス炊飯器・お膳（3組）・食器（一式）	民俗	平成21/03/03
扇風機	民俗	平成21/03/05
オカダヤ包装紙・「天皇陛下三重県御巡幸記念写真帳」・「伊勢湾台風にいどんで」	歴史	平成21/03/06
東海道四日市宿道標	歴史	平成21/03/10
『みづゑ』（1959年3月号）	文学	平成21/03/10
「中央公論 歴史と人物」（昭和49年5月号）	文学	平成21/03/10
「富洲原町案内」（大正12年発行・昭和12年発行）	歴史	平成21/03/12
土器（市内採集資料）標本箱等	考古	平成21/03/12
東京オリンピック聖火リレーの写真（6点）	民俗	平成21/03/12
ダッコちゃん・シッカロール（紙箱）	民俗	平成21/03/14
陶器製のマッチ箱	民俗	平成21/03/25
関東大震災 絵はがき	歴史	平成21/03/25
「公害・環境問題史を学ぶ人のために」「四日市公害を語る」「戦国時代の北伊勢」	歴史	平成21/03/25
ゲームウォッチ（1点）・鉛筆削り（1点）・ラジオ（1点）・マス（5合）（1点）・ナショナル電子ソロバン（1点）・配線用絶縁ステッpler（1点）・硝子チャック（1点）・ヘアカーラー（2点）・自動印（2点）・回転印（2点）	民俗	平成21/03/25
ポスター（3点）・万博PR用パネル（2点）・キャンディーズパネル・新聞（8点）・カレンダー（1979年）・聖火リレー写真（3点）・教科書（17点）・新聞語辞典・コミック本（6点）・謄写版用具一式・ラジオ・カメラ（8点）・ファミリーかみしばい（2点）・愛国百人一首かるた・万博グッズ（パンフレット等一式）・カタログチラシ等（一式）・オリンピックソノシート等（7枚）・雑誌（全	民俗	平成21/03/27

199 冊) ・ 子供用読み物本 (12 冊)		
写真 (2 点) ・ 雑誌 (3 冊)	民俗	平成 21/03/27
電気毛布 (カバー付) 一式	民俗	平成 21/03/27
敷ふとん ・ 写真ひきのぼし器 ・ リコーフレックス ・ ヤシカ A ・ 写真 (4 枚) ・ 映写機 ・ 8mm ビデオカメラ	民俗	平成 21/03/28
ランドセル ・ 弁当箱 ・ ウェディングドレス ・ 教科書 (3 点)	民俗	平成 21/03/29
ウェディングドレス (一式)	民俗	平成 21/03/29
水屋 (1 点) ・ 本立て (1 点) ・ 文机 (2 点) ・ 本棚 (1 点) ・ 洋タンス (1 点) ・ 衣桁 (1 点) ・ 夏敷き (1 点) ・ ざぶとん (5 点) ・ 雨傘 (1 点) ・ スポーツバック (2 点) ・ 和裁くけ台 (1 点) ・ はんてん (1 点) ・ こども用着物 (1 点) ・ ウールコート (2 点) ・ ワンピース (2 点) ・ ラジカセ (1 点) ・ 豆炭行火 (1 点) ・ 蚊取り線香入れ (1 点) ・ 灰皿 (2 点) ・ 写真立て (1 点) ・ うちわ (10 点) ・ マッチ箱 (46 点) ・ 食器類 (14) ・ タイマー (1 点) ・ 鉛筆キャップ (1 点) ・ スチール缶 (1 点) ・ レース上敷き (1 点) ・ 広告 (1 点) ・ ポケットティッシュ (1 点) ・ ペン立て (1 点) ・ トレーニングパンツ (1 点) ・ 人形 (1 点) ・ こけし (57 点) ケース入り ・ ぜんそく用医療器具一式 (1 点) ・ 日本の 100 年 (1 点) ・ 四日市のあゆみ (1 点) ・ 果実皮むき器 (1 点) ・ ダイモ一式 (1 点)	民俗	平成 21/03/31

寄託資料

資料名 ・ 作者等	分類	購入年月日
栄花物語 (富岡本)	歴史	平成 20/05/22
絹本著色山水図	美術工芸	平成 20/05/22
鯨船 明神丸舳先装飾品	民俗	平成 20/07/12

5 調査研究事業

学芸員の博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的研究をはじめさまざまな豊富な知識を享受し、特別展示の開催等、多くの事業に資するため、各種情報の収集に努めつつ、調査研究活動を行っている。今後も常設展示・特別展示等の充実、教育普及事業の活発化、各専門分野における自己研鑽に努めつつ、他の博物館や公共機関等の調査研究活動への協力、資料収集、展示等への技術的指導と助言・援助、また、いろいろな施設で開催される各種の講演会等への講師派遣などで成果の還元を図る。

そのため、館及び分野ごとの共通テーマに基づいた年度ごとの課題調査、学芸員個別の研究テーマによる調査、特別展・企画展に向けた事前の調査を柱として、博物館の諸活動を支える基礎的活動として活発に展開していきたいと考える。

課題調査

「市内所在資料・コレクション等調査」

「次年度以降特別展企画展調査」

「昭和の暮らし調査」

「田村泰次郎調査」

「館通因調査」

「市内仏教美術調査」

教育普及事業 (ワークショップ・学習支援展示) 調査

2 プラネタリウム投映事業

1 天文展示

テーマ「宇宙観 5000 年の歴史」、天体写真、隕石等を展示。また、映像コーナーでは、タッチパネル機器「スペース・シミュレーション」の設置、「太陽系の旅」・「遙かなる月へ～月周回衛星『かぐや』の軌跡～ (JAXA 提供)」をビデオ放映した。さらに、季節番組に合わせて、「月探査機かぐや

が撮影した月の画像」「天体シミュレーション・ステラキッズ」、「市制 111 周年記念・泗水の里」、「黄道 12 星座絵」、「宮沢賢治書籍」、「アロマ体験コーナー」、「星座クイズ」「月のクイズ」などを展示した。

2 投映活動

季節番組を2種類（家族向けと一般向け）に分けての投映方式を継続・充実させた。一般向け番組は自主企画で制作し、50分間のフルライブ解説とした。家族向け番組は、夏番組と秋冬番組を市制 111 周年にあわせて特別番組とし、四日市の自然や歴史の紹介を番組の前半に、宮沢賢治の作品を後半に投映した。また、好評であった、星空をゆっくりと楽しむ星座神話番組「神話の星めぐり」を、2ヶ月ごとに季節の星座や代表する星座の神話などを、内容を替えてライブ解説した。また、聴覚障害者にも配慮した字幕付き投映、園児や児童を対象とした学習投映なども実施した。

投映時間と番組

	10:30～	13:20～	14:40～	16:00～
平日	(学校園団体利用)	一般向け番組	星座神話番組	
土曜日・学校園長期 休暇期間の平日	家族向け番組	家族向け番組	一般向け番組	星座神話番組
日曜日・祝日・学校園 長期休暇期間の土日	家族向け番組	家族向け番組	一般向け番組	家族向け番組

(1) 季節番組 (料金: 一般 530 円 高・大生 370 円 小・中生 200 円)

	番組名 / 投映期間	投映回数	入場者
冬春番組	一般向け番組「おじいさんおばあさんが伝えた ふるさとの星」 2月2日(土)～5月25日(日) 90日間	84回	864人
	うち平成20年度分(4/1～5/25) 43日間	39回	409人
	家族向け番組「ムーミン谷の物語 星と花のセレナーデ」 2月2日(土)～5月25日(日) 46日間	115回	3,598人
	うち平成20年度分(4/1～5/25) 23日間	57回	1,632人
	夏番組	一般向け番組「最新報告! 『かぐや』の本当は深い月の科学」 5月31日(土)～9月28日(日) 95日間	94回
家族向け番組「地上の星と銀河の星『銀河鉄道の夜』(前期)」 5月31日(土)～9月28日(日) 59日間	144回	7,694人	
秋冬番組	一般向け番組「オーストラリア星紀行」 10月4日(土)～平成21年1月25日(日) 85日間	78回	1,296人
	家族向け番組「地上の星と銀河の星『銀河鉄道の夜』(後期)」 10月4日(土)～平成21年1月25日(日) 41日間	96回	3,799人
	冬春番組	一般向け番組「ガリレオーその時地球が動いたー」 平成21年1月31日(土)～5月31日(日) 97日間	90回
うち平成20年度分(1/31～3/31) 48日間	45回	692人	
家族向け番組「はだかのおうさま 月へいく」 平成21年1月31日(土)～5月31日(日) 48日間	114回	2,929人	
うち平成20年度分(1/31～3/31) 23日間	57回	1,594人	
星座神話 番組	4月「しし座特集」、5月「おとめ座特集」、6月～7月「こと座・わし座と七夕物語」、8月～9月「はくちょう座からみなみじゅうじ座へ『銀河鉄道の夜』の旅」、10月～11月「カシオペアとアンドロメダ姫物語」、12月～1月「オリオンと月の物語」、2月～3月「いっかくじゅう座」 193日間	185回	2,062人

※星座神話番組は、4月～5月は「12星座物語」、6月以降は「神話の星めぐり」を実施した。

また、上記のほか、試写会に183人(3回実施)また、各番組について1回ずつ字幕付投映を実施した(星座神話番組を除く)。

赤外線補聴装置を常設。

春番組 「おじいさん おばあさんが伝えた～ふるさとの星～」

日本各地で語り継がれた、星にまつわる話や星の和名を見ごろな星座にあわせて紹介した。特に、日本独自の星の文化や歴史を研究し、「星の文学者」とも言われる野尻抱影の功績に触れ、昔の人々の暮らしと星とのつながりについて解説した。また、ここ四日市で育ったおじいさんやおばあさんから星に関する聞き取り調査を行い、番組の中で「七つ星（北斗七星）やみつぼっさん（オリオン座の三つ星）」についての話をインタビューとして取り上げた。さらに、四日市市内で星が綺麗に見えるスポットで職員が撮影した景色と星空の写真を紹介した。観覧者アンケートでは、「今の四日市でも星を見てほしいとの願いが伝わってきた。」「四日市のおじいさん、おばあさんのお話は昔の様子分かってよかった。」など自主制作ならではの演出が好評であった。（天文係 加藤正之）



春番組 「ムーミン谷の物語 星と花のセレナーデ」

平成 16 年度に投映し、好評を得た番組の再投映。フィンランドを代表する世界的に有名なムーミン谷の物語の第二作目で、ビデオプロジェクターなどの補助投映機を最大限に利用した完成度の高い作品であった。また、永遠とも思える星の輝きにも限りがあることなど、科学知識も自然に身につけられる優れた内容で、創造性を高める上に、心温まるストーリーであった。（天文係 稲垣好孝）

夏番組 「最新報告！『かぐや』の本当は深い月の科学」

うちわに蓄光シートを貼った解答札を利用した、観覧者参加型の番組「クイズで挑戦！」シリーズの4回目。

今回は、小中学生の学習にあわせて、月の1ヶ月間の動き方や、月の自転と公転などをクイズに取り入れた。また、この番組から導入したハイビジョン映像を全天周に投映できるプロジェクターを活用し「月面から見た地球による日食」の全天周映像を紹介した。臨場感あふれる映像で、観覧者からは自分が月にいるような不思議な光景でおもしろかったなどの声をいただいた。

さらに、2学期に行う移動式プラネタリウムでの連携授業を実施する中学校（18校）へは、事前学習としてプラネタリウムを観覧してもらうために、学習参加券を配布した。その結果、中学生だけで1200名を超える参加者があり、また合計観覧者数が4231名となり、一般向け番組の夏番組としては過去最高の観覧者数となった。（天文係 稲垣好孝）



夏番組 市制 111 周年記念番組「地上の星と銀河の星『銀河鉄道の夜』」

市制 111 周年にあわせて、ここ四日市は海と山に囲まれた豊かな自然を持っていることなどを、四日市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」が紹介するという新たな取り組みを行った。水質が良く水量の豊かな地下水が湧き出していたことから「泗水の里」と呼ばれていたことや、現在も有名な



お酒どころがあることなどの話題から、綺麗な水辺に住むホテルの輝きを「地上の星」として映像で再現した。また、「銀河の星」では、新たに導入した全天周デジタル機器を活用し、デジタルファインアーティストKAGAYAが再現した宮沢賢治原作の「銀河鉄道の夜」を迫力ある映像で投映した。アンケートでは、「感動した」という感想が大変多く寄せられ、幻想的で美しい映像の中に入り込みあたかも銀河鉄道を旅しているかのような演出を楽しむことができたようである。また、蠍の火のお話など原作に基づいた深い内容のシナリオも好評であった。しかし、小さい子どもには難しい内容で話が分からなかったとの声もあり、改めて家族向け番組での対象年齢の設定の難しさを感じた。(天文係 加藤正之)

秋冬番組 「オーストラリア星紀行」

平成 20 年、四日市港とオーストラリアのシドニー港が、姉妹港提携 40 周年を迎えた。これに合わせ、両港の歴史と交流を紹介し、オーストラリアの星空を楽しむ番組を自主制作した。最初に四日市港の始まりについて、稲葉三右衛門の尽力により完成した旧港から、現在に至るまでの発展の歴史を紹介した。四日市の星空解説の後、四日市港から帆船でシドニー港へ向かう星の旅は、南へ向かうにつれて水平線から上ってくる南半球の星座を眺めながら、シドニー港に到着する演出が好評だった。オーストラリア観光協会提供の、オーストラリア名所紹介映像の後、実際の旅行ツアーのように、エアーズロック周辺で星空観察を行った。南十字星をはじめ、普段見られない南半球の星座や、見ると寿命が延びるといわれる星「カノープス」などを紹介した。オーストラリアに旅行に行く前にと、星空の予習をしに来てくださった方々の姿が印象的だった。旅行後に、「おかげで南半球の星空を満喫できました」とお礼にご来館された方もみえた。アンケートでも、旅行番組風のゆったりとした雰囲気の中、北半球と南半球の星空を楽しめたという感想を多くいただいた。また、四日市港とシドニー港の関係を知って、より関心が深まったという声もあり、番組の趣旨が理解されたことは良かった。しかし、もっと星空を見たいという意見もあり、星空とテーマ部分の時間配分は、自主制作の課題の一つであると改めて感じた。(天文係 須藤悠愛)

秋冬番組 市制 111 周年記念番組「地上の星と銀河の星『銀河鉄道の夜』」(後期)

「こにゅうどうくん」による四日市の紹介内容を夏番組から変更し、宿場町として栄えた四日市の歴史を取り上げた。東海道五十三次を題材に、浮世絵に描かれた四日市から、お饅頭などの和菓子へと話題を広げて、名物「なが餅」と戦国武将、藤堂高虎とのエピソードを紹介した。そして、地場産品でもある伊勢茶や萬古焼にも古い歴史があることに触れ、その歴史を受け継いで残そうとしている職人たちの努力があることを取り上げた。そこで、四日市で働く人々こそが「地上の星」であり、光輝く街そのものを大切にしようというメッセージを込めた。「銀河の星」では、夏番組に引き続き「銀河鉄道の夜」を投映した。約 8 ヶ月間という長期にわたる投映であったが、リピーターが多く、中には 5 回・7 回と観たという方もみえ、また、投映終了後も再投映の要望が多く寄せられたことから、観覧者の満足度が高かったことがうかがえた。今後も今回導入した全天周映像を映すことのできる機器を有効に活用して、もう一度観たいと思えるような番組選定や番組制作を行っていきたい。(天文係 加藤正之)

星座神話番組 「神話の星めぐり」

前年度実施の「神話の星めぐり (12 星座物語)」に続く、星空と神話をじっくりと楽しむ番組。プラネタリウムの原点ともいえる内容で、毎年アンケートでも安定した評価を受けている。今年度は、季節番組に関連する星座や、秀逸な神話をもつ星座のなかから、その季節に見ごろの星座を隔月で特集し紹介した。市制 111 周年記念番組「銀河鉄道の夜」にあわせて投映した「はくちょう座からみなみじゅうじ座へ～『銀河鉄道の夜』の旅～」では、二つの星座を結ぶ銀河鉄道を、沿線の星座をたどってご紹介し、好評を博した。また、あまり知られていない星座にも、魅力があることを感じていただけたようだ。アンケートで人気の高いコーナー「誕生日の星空再現」も継続して実施した。誕生月に来館された方の中から一名に、生まれた日の星空を再現して紹介するコーナーである。誕生日当日に来館される観覧者の方もみえ、投映終了後には、観覧者から直接感謝の言葉を頂く機会が増えてきている。この番組が「自分の生まれた日の星空が見られる番組」として定着してきたことがうかがえる。よく知られてい

る 12 星座と、マイナーな星座の特集はどちらも要望があるため、隔年で交互に実施するなどして、実現していきたい。(天文係 須藤悠愛)

(2) 学習投映 (保育園、幼稚園、小・中学校、高校等の団体利用)

投映：平日①10:00～、②11:00～ ただし5月第3週は10:00からのみ

季節の星座を中心に年齢・学年に応じた、生解説による双方向型の学習用プラネタリウム投映
投映回数 142 回、入場者数 219 団体 (11, 202 人)

月 日	テ ー マ	校 園	入 場 者
4月11日 ～5月23日	保 幼 星座動物園へようこそ	1 園	140 人
	小 学 土星クイズに挑戦!	0 校	0 人
	中 学 惑星クイズに挑戦!	1 校	122 人
	その他	0 校	0 人
6月3日 ～7月18日	保 幼 七夕物語	85 園	3,576 人
	小 学 星座早見盤の使い方と夏の大三角	10 校	316 人
	中 学 惑星クイズに挑戦!	2 校	21 人
	その他 七夕物語	3 校	68 人
9月2日 ～10月31日	保 幼 お月さまのお話	2 園	101 人
	小 学 月を見よう!	29 校	1,892 人
	中 学 天の川は銀河系	0 校	0 人
	その他	3 校	299 人
11月5日 ～12月19日	保 幼 アンドロメダ姫物語	6 園	243 人
	小 学 月を見よう!	29 校	2,081 人
	中 学 パワーズオブテン	0 校	0 人
	その他	2 校	14 人
平成21年 1月6日 ～3月25日	保 幼 うたのプラネタリウム	18 園	750 人
	小 学 冬の大三角と星の色	21 校	1,523 人
	中 学 南半球で見るオリオン座	1 校	3 人
	その他	6 校	53 人

※上記以外に、5月21日(水)11:00の部に、防府市議会議員(9名)の視察対応の投映を実施した。

(3) 特別番組

①「宇宙塾～天文^{がく}しませんか?～」(全4回)

土曜日 16:30～18:00 料金:800円

市民が天文・科学をより詳しく学習する機会として、「宇宙塾」を年4回実施した。天文学最前線で活躍中のゲストを迎えて、最新の話題や実験質問コーナーをおりませた、プラネタリウム特別版。

月 日	テ ー マ / 講 師	入 場 者
第33回 8月25日	教員のための宇宙塾「四日市でできる太陽観測」 伊藤 信成 (三重大学教育学部准教授)	78 人
第34回 9月6日	宇宙と教育について ～宇宙が子どもたちの心に「火」をつける～ 的川 泰宣 (宇宙航空研究開発機構 名誉教授)	75 人
第35回 10月25日	KAGAYA作品が生まれるとき KAGAYA (デジタルファインアーティスト)	89 人
第36回 2月8日	最新宇宙論に挑戦!～宇宙の始まり、果てを見る!～ 杉山 直 (名古屋大学大学院理学研究科教授)	147 人

※第33回は月曜日14:00～16:00 料金500円 プラネタリウム指導者研修会と兼ねた。

※第36回は日曜日 16:30～18:30 ノーベル賞記念特別版で放映時間を拡大した。

② 生演奏コンサート

金曜日 19:00～20:30 料金:1,200円 (前売制)

月 日	テーマ/出演者	入場者
7月 4日	七夕コンサート/ハープ&フルート	144人
10月 31日	秋の夜長コンサート/マリンバアンサンブル	150人
12月 19日	クリスマスコンサート/暁高校合唱部	160人

※クリスマスコンサートのみ、18:00～19:30 料金 500円

③ CDコンサート

金曜日 19:00～20:00 料金:600円 (前売制)

月 日	テーマ	入場者
6月 13日	初夏の星空と「小田和正特集」	155人
8月 8日	真夏の星空と「サザンオールスターズ 30周年特集」第1部	104人
〃	真夏の星空と「サザンオールスターズ 30周年特集」第2部	151人
10月 10日	秋の星空と「徳永英明特集」	147人
平成21年 3月 6日	早春の星空と「卒業ソング特集」	86人

※8月8日のみ第1部として16:30～17:30にも開催。1部・2部とも内容は同じ。

④ アロマと星の旅

5月13日(火)～16日(金)の11:00～11:50と5月18日(日)の16:00～16:50

料金:一般530円 高・大生370円 小・中生200円

月	テーマ	入場者
5月第3週	古代エジプト紀行「クレオパトラが愛したバラの香りと古代エジプトの星空旅行」	188人

⑤ クリスマス特別放映

平成20年12月25日(木) 13:20～、14:40～、16:00～ (各回50分)

料金:一般530円 高・大生370円 小・中生200円

「アロマとクリスマスの北欧の風景とオーロラの映像」 入場者 221人

(※10:30からの回は、「銀河鉄道の夜」を放映)

3 天文教育普及事業

(1) 子ども天文教室 (講師:天文係職員、天文ボランティア)

	月 日	天文工作	きらら号観望会
夏	平成20年8月16日(土)	550人	50人
冬	平成21年2月14日(土)	176人	150人

夏の工作内容:①ストローロケット、②モバイル日時計、③ヘロンの噴水、④浮沈子、
⑤月の満ち欠け早見盤 の5種類

冬の工作内容:①月の満ち欠け早見盤、②星座早見盤、③土星ペーパークラフト の3種類

(2) 天文教育研修会

教育センター、理科教育研究協議会、少年自然の家等との共催で主に教員を対象

月 日	時 間	内 容	講 師	参加者
5月21日(水)	16:00~16:50	小学校三泗理科教育研究協議会 (地学部) 研修	天文係	19人
6月5日(木)	9:10~10:10	教職員新規採用者研修	天文係	54人
8月11日(月)	14:00~16:00	天文工作 観測器具を作って月の 動きを調べよう	天文係	39人
8月25日(月)	14:00~16:00	教員のための宇宙塾「四日市で できる太陽観察」	伊藤信成(三重 大学准教授)	78人
8月26日(火)	17:30~21:00	アウトドアセミナー②「天体望遠 鏡のしくみと製作及び天体観察会	天文係	20人

※5月21日と8月25日は、プラネタリウム内で実施した。

(3) 公開観望会

月 日	時 間	内 容	場 所	参加者
8月12日(火)	19:00~21:00	ペルセウス座流星群観望会	星の広場	300人
8月30日(土)	19:00~21:00	夏の大三角と天の川観望会	星の広場	天候不順の ため中止

(4) 科学技術振興機構(JST)による地域科学館連携支援事業

移動式プラネタリウム、立体映像装置を用いた出前授業を三泗地区内小中学校で実施した。

① 移動式プラネタリウム 実施校：18校(2,421人)

三重平中学校 94人(3クラス) 10月24日(金)	羽津中学校 183人(5クラス) 11月11日(火)	富州原中学校 214人(6クラス) 11月12日(水)	西笹川中学校 124人(4クラス) 11月13日(木)
橋北中学校 103人(3クラス) 11月18日(火)	菰野中学校 230人(6クラス) 11月21日(金)	朝日中学校 74人(2クラス) 11月27日(木)	川越中学校 106人(3クラス) 11月28日(金)
朝明中学校 239人(6クラス) 12月4日(木)	塩浜中学校 50人(2クラス) 12月5日(金)	笹川中学校 131人(4クラス) 12月12日(金)	北勢きらら学園 38人(5クラス) 12月15日(月)
大池中学校 178人(5クラス) 12月16日(火)	八風中学校 163人(5クラス) 12月17日(水)	保々中学校 79人(2クラス) 12月18日(木)	南中学校 210人(6クラス) 1月15日(木)
西陵中学校 82人(3クラス) 1月20日(火)	西朝明中学校 123人(4クラス) 1月22日(木)		

② バーチャル星空探検(立体映像) 実施校：20校(1,587人)

八郷小学校 128人 (4クラス) 9月17日(水)	鶺川原小学校 48人 (2クラス) 9月18日(木)	河原田小学校 43人 (2クラス) 9月19日(金)	三浜小学校 15人 (1クラス) 9月24日(水)	楠小学校 117人 (3クラス) 9月25日(木)
-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------

三重北小学校 57人 (2クラス)	東橋北小学校 13人 (1クラス)	富州原小学校 115人 (3クラス)	中央小学校 45人 (2クラス)	水沢小学校 44人 (2クラス)
9月26日(金)	10月7日(火)	10月8日(水)	10月9日(木)	10月10日(金)
朝上小学校 112人 (3クラス)	千種小学校 49人 (2クラス)	内部小学校 96人 (3クラス)	八郷西小学校 37人 (1クラス)	海蔵小学校 123人 (3クラス)
10月16日(木)	10月17日(金)	10月21日(火)	10月22日(水)	10月23日(木)
三重西小学校 67人 (2クラス)	常磐小学校 140人 (4クラス)	大矢知興譲小学校 152人 (4クラス)	日永小学校 94人 (3クラス)	富田小学校 92人 (3クラス)
10月29日(水)	10月31日(金)	11月6日(木)	11月7日(金)	11月20日(木)

※1月25日(日)楠地区「科学の祭典」で、立体映像システムを用いた天文教室を実施した。
(参加者:55名)

- (5) 科学技術振興機構(JST)による地域活動支援事業
少年自然の家で、小中学生を対象に宿泊を伴う天文教室、観望会などを実施。
企画名:スペースキャンプ〜めざせガリレオ博士〜
活動場所:博物館プラネタリウム、少年自然の家
講師:浅田 英夫(天文研究家)
12月6日(土)〜7日(日) 1泊2日 参加者:87人

- (6) いきいき出前講座等による天文教室
4月4日(金) 10:30〜11:30 保々地区学童保育所 50人
12月21日(日) 10:00〜11:30 日永地区中の町子ども会 40人
2月13日(金) 14:00〜18:30 北星高校(公開授業) 20人

- (7) 御在所ロープウェイとの連携事業
活動場所:博物館プラネタリウム、御在所岳山上

1	8月2日(土)〜3日(日) 「ございしょナイトワールド①」	山上レストランアゼリアにて1泊	26人
2	8月9日(土)〜10日(日) 「ございしょナイトワールド②」	山上レストランアゼリアにて1泊	37人
3	11月29日(土)〜30日(日) 「ございしょスターでナイト」	山上レストランアゼリアにて1泊	37人

- (8) 移動天文車事業
天文ボランティア(48人)の協力を得て観望会を実施。

① 派遣事業

要請により市内各地へ出動し、天文ボランティアの協力を得て観望会を行った。天候不順による観望会中止時で希望する団体には、いきいき出前講座による天文教室を実施した。

稼動予定件数 48件(うち派遣回数33回、中止時の天文教室回数7回)

参加者数 2,973人(うち中止時の天文教室参加者数500人)

ボランティア数 延べ117人



② 主催事業

季節に見ごろの惑星などの観望会を、天文ボランティアの協力を得て市内各地で実施した。対象は子どもから大人まで。

稼動予定件数 25件（うち実施回数 20回）
 参加者数 2,304人
 ボランティア数 延べ107人

月 日	内 容	場 所	時間帯	参加者
4月26日（土）	土星を見よう	市民公園	夜間	中止
5月11日（日）	サンデー太陽観望会	四日市ドーム	昼間	中止
5月17日（土）	月と土星を見よう	桜地区運動広場	夜間	73人
6月7日（土）	月と土星を見よう	富双緑地公園	夜間	67人
7月26日（土）	木星を見よう	市民公園	夜間	70人
8月3日（日）	サンデー太陽観望会&木星を見よう	四日市港（ポートビル前）	昼夜	200人
8月16日（土）	木星を見よう	市民公園	夜間	50人
8月25日（月）	天文教育研修	市民公園	昼間	中止
8月26日（火）	アウトドアセミナー②	少年自然の家	夜間	中止
9月6日（土）	木星を見よう	市民公園	夜間	70人
9月28日（日）	サンデー太陽観望会	楠中央緑地	昼間	300人
10月11日（土）	月と木星を見よう	パワーシティー 四日市	夜間	120人
10月12日（日）	月と木星を見よう	パワーシティー 四日市	夜間	150人
10月25日（土）	木星とアルビレオを見よう	市民公園	夜間	40人
11月2日（日）	月と木星を見よう	日永カヨー	夜間	120人
11月9日（日）	月と木星を見よう	日永カヨー	夜間	中止
12月6日（土）	スペースキャンプ	少年自然の家	夜間	87人
12月7日（日）	月と金星を見よう	市民公園	夜間	80人
1月3日（土）	望遠鏡で初日を見よう	イオン四日市北店	昼間	215人
1月4日（日）	望遠鏡で初日を見よう	イオン四日市北店	昼間	150人
2月7日（土）	月と金星を見よう	市民公園	夜間	80人
2月8日（日）	月と金星を見よう	市民公園	夜間	80人

2月14日(土)	太陽黒点やプロミネンスを見よう	市民公園	昼間	150人
3月1日(日)	金星と月とすばるを見よう	伊弉四日市尾平店	夜間	120人
3月8日(日)	月のクレーターを見よう	伊弉四日市尾平店	夜間	82人

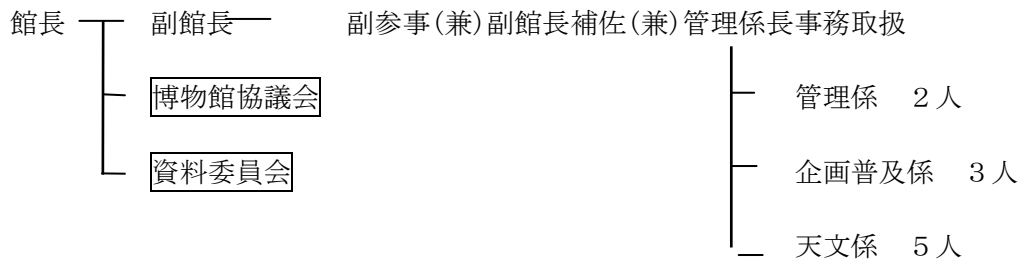
※中止：天候不順のため

管理・運営

1 組織

(1) 職員構成

(平成21年3月末現在)



(2) 事務分掌

[管理係]

- (1) 博物館事業の調整及び運営に関する事。
- (2) 調査、統計及び報告に関する事。
- (3) 博物館協議会に関する事。
- (4) 施設の維持管理及び館内の秩序維持に関する事。
- (5) 施設の使用許可に関する事。
- (6) 観覧券の発売及び入館者の受付、案内等に関する事。
- (7) 館の庶務に関する事。

[企画普及係]

- (1) 特別展示の企画及び開催に関する事。
- (2) 常設展示及び特別展示の利用者への説明、指導等に関する事。
- (3) 博物館資料の収集、保管、展示、貸出及び利用に関する事。
- (4) 博物館資料の調査研究及び報告書の刊行頒布等に関する事。
- (5) 講演会、講習会、研究会等の開催に関する事。
- (6) 博物館資料の購入、受贈及び受託に関する事。
- (7) 博物館の広報に関する事。

[天文係]

- (1) プラネタリウムの映写及び天体観測に関する事。
- (2) 天文知識の普及及び啓発に関する事。
- (3) 天文資料の収集、保管、展示及び調査研究に関する事。
- (4) 移動天文車に関する事。

2 予算

平成20年度

[歳入]

(単位：千円)

科目			当初予算額
使用料及び手数料 使用料 教育使用料 社会教育使用料	博物館使用料	博物館観覧料 プラネタリウム観覧料 施設使用料 特殊器具使用料	14,070 8,005 632 1
財産収入 財産売払収入 物品売払収入 物品売払収入	市史等売払収入	図録等	2,600
諸収入 雑入 雑入 雑入	教育費雑入 各種講座受講料 広告料収入	博物館委託販売手数料 博物館事業費助成金 ミュージアムセミナー参加料 プラネタリウム広告料収入	2,000 6,800 105 360
計			34,573

[歳出]

(単位：千円)

科目	当予算額	管理運営	調査研究	展示開催	資料収集	教育普及	プラネタリウム 運営	天文館運営
報酬	222	222						
賃金	7,037	3,126		1,304	2,607			
報償費	1,725		200	319	64	500	642	
旅費	1,346	262	195	518	22	45	304	
需用費	33,008	24,900	100	4,361	435	610	2,511	91
役務費	3,866	1,691		1,630		402	143	
委託料	114,616	76,430		14,673	2,730	269	20,178	336
使用料及び賃借料	3,687	1,405		100	374		1,808	
備品購入費	130						130	
負担金補助 及び交付金	22,483	70	18	22,330		45	20	
計	188,120	108,106	513	45,235	6,232	1,871	25,736	427

3 博物館協議会

四日市市立博物館協議会は、博物館の運営に関して館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、博物館法及び四日市市立博物館条例の規定に基づき設置されるもので、平成5年6月1日付けで委員17人（定数20人以内）を委嘱（任期2年）して発足した。平成20年度委員は下表のとおりである。なお、平成20年度協議会は2回開催された。

- 第1回協議会 8月27日(水) 13:00～
議題：①平成20年度事業実施状況について
- 第2回協議会 平成21年2月26日(木) 13:30～
議題：①平成20年度下半期事業実施状況について
②平成21年度事業計画案について

[四日市市立博物館協議会委員]

	氏名	職名
学校教育関係	柴原 岩喜	四日市市小学校長会代表
	藤本 俊幸	四日市市中学校長会代表
	山本 由美子	四日市市公立幼稚園長会代表
	片岡 一憲	私立学校代表
社会教育関係	松本 光文	四日市市自治会連合会代表
	九鬼 多賀子	四日市市立博物館ボランティアの会代表（博物館）
	小川 裕子	四日市市立博物館ボランティアの会代表（学習支援）
	山本 浩道	四日市市立博物館ボランティアの会代表（天文）
学識経験者	石田 昇三	四日市市文化財保護審議会代表
	伊達 則彦	四日市商工会議所代表
	山田 正博	四日市萬古陶芸協会代表
	播磨 良紀	四日市大学環境情報学部教授
	豊田 元子	三重日仏協会理事
	浅田 英夫	天文研究者
	清藤 天	市政記者クラブ代表

4 施設の利用

当館の施設の利用については、四日市市立博物館条例第5条により、特別展示室・講座室等を博物館の設置目的に反しない、博物館事業に支障のない範囲において、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するものについて利用を許可している。平成20年度実績は、以下のとおりである。

[特別展示室]

- ・和紙ちぎり絵
平成20年6月27日(金)～29日(日) 和紙ちぎり絵四日市サークル
- ・パッチワークキルト展
平成20年9月21日(日)～27日(土) キルト工房針の詩

[講座室]

- ・市熟年大学十七期生総会
5月23日(金) 市熟年大学十七会

- ・歴史ゼミナール四日市第 30 期講座 歴史ゼミナール四日市
5月24日、7月26日、9月27日、11月22日、平成20年1月24日、3月28日 各土曜日
 - ・四日市文化会 600 回記念講演会
7月13日(日) 四日市文化会
 - ・平和学集会
8月2日(土) 連合三重三河地域協議会
 - ・歴史講座
8月31日(日) 四日市市教育委員会社会教育課
 - ・市民大学一般クラス
10月8日(水) 四日市市市民文化部文化国際課
 - ・MOA美術館四日市児童作品展
10月11日(土)～12日(日) MOA美術館四日市児童作品展実行委員会
 - ・エコまつり 2008
10月19日(日) 社団法人 四日市市青年会議所
 - ・もとまち芸術予備校生徒作品展
10月24日(金)～26日(日) もとまち芸術予備校
 - ・レッツトライ自転車
10月31日(金)～11月2日(日) 四日市市都市整備部都市計画課
 - ・人権ゆかりの地(ポイント)を訪ねる
3月15日(日) 常磐地区人権・同和教育推進協議会
- [市民ギャラリー]
- ・9th JUNKO展
5月2日(金)～6日(火) 個人
 - ・工房椿 荻内善晴作陶展
5月27日(火)～6月1日(月) 工房椿
 - ・Paper Quilling 2008
6月3日(火)～8日(日) クラフト工房はんなり
 - ・茶道具の仕服作品展
6月20日(金)～22日(日) 個人
 - ・絵本原画の魅力展
10月9日(木)～13日(月) 山画廊
 - ・第3回鎌倉彫作品展
10月23日(木)～26日(日) 鎌倉彫教室
 - ・2008高校生・中学生クリエイターコンテスト
11月14日(金)～16日(日) あいち造形デザイン専門学校
 - ・荒木めぐみ香合と人形・あそび道具展
11月20日(木) 個人
 - ・四日市の音風景2008
12月20日(土) ブンテック NPO グループ「音の泉サロン」
 - ・市制 111 周年記念事業 四日市市指定文化財写真展

平成 21 年 2 月 2 日 (月) ～3 月 16 日 四日市市教育委員会社会教育課

- ・写真教室作品展
平成 21 年 3 月 22 日 (日) ～29 日 (日) 四日市中日文化センター

[エントランスホール]

- ・第 13 回発掘展
7 月 29 日 (火)～8 月 31 日 (日) 四日市市教育委員会社会教育課
- ・つくる あそぶ あつめる 模型展
7 月 19 日 (金) ～9 月 17 日 (水) 財団法人四日市市文化振興財団
- ・木版画年賀状展
平成 21 年 1 月 10 日 (金)～18 日 (木) 木版友の会

5 年報の発行 第 15 号 A4 35 頁 インターネットホームページで公開

6 利用状況 (4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(1) 常設展観覧者数 (無料)

月	開館日数	小中		園児		他団体		小中以下	大人・高大	入館者計
		校	人数	園	人数	数	人数			
4	26	0	0	0	0	0	0	348	735	1,083
5	27	0	0	0	0	1	18	461	1,936	2,415
6	25	2	106	28	894	1	32	434	1,771	3,237
7	27	9	548	12	403	1	36	661	860	2,508
8	27	0	0	0	0	0	0	1,978	1,901	3,879
9	16	1	95	0	0	0	0	200	566	861
10	27	11	857	0	0	0	0	375	1,113	2,345
11	26	19	1,395	2	44	0	0	346	1,195	2,980
12	21	3	136	1	43	2	75	280	1,081	1,615
1	25	9	641	2	103	0	0	621	1,550	2,915
2	24	17	1,409	1	28	0	0	415	1,036	2,888
3	26	3	225	3	64	0	0	490	1,276	2,055
合計	297	74	5,412	49	1,579	5	161	6,609	15,020	28,781

(2) 特別展観覧者数

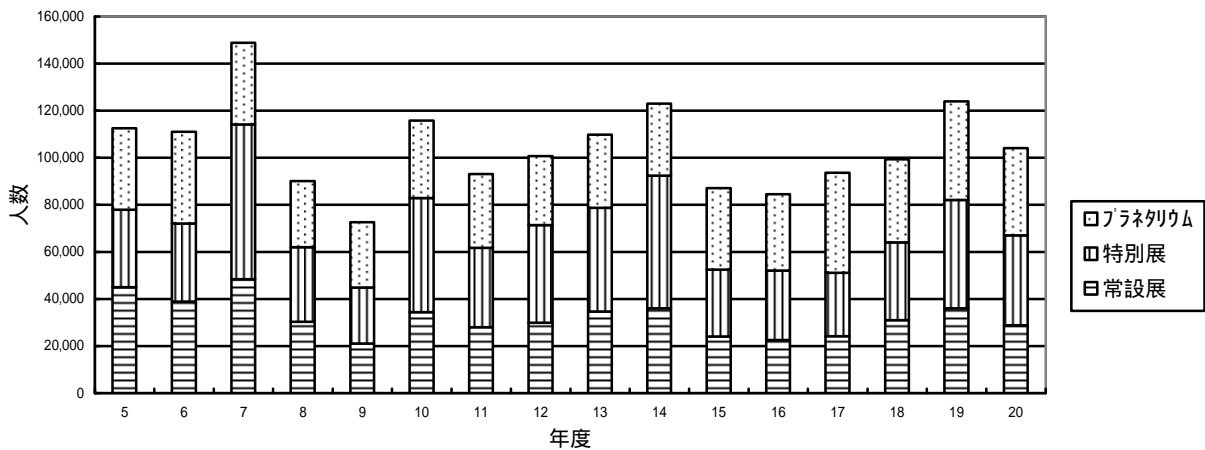
会期	有料観覧者								無料観覧者							観覧者計					
	個人		団体(2割引)		減免(5割引)		減免(5割引)の団体	有料入館者計	小中	園児	他団体	小中以下	招待券	引率者	無料入館者計						
	一般	高大	一般	高大	一般	高大											一般	高大	校	人数	園
①	50	4,928	779	407	76	80	3	0	0	6,273	0	0	2	61	3	60	590	1,097	0	1,808	8,081
②	56	1,824	51	570	18	73	0	0	0	2,536	10	442	9	499	1	36	4,403	1,574	0	6,954	9,490
③	27	2,260	190	455	21	55	0	0	0	2,981	13	914	1	34	1	26	1,360	844	0	3,178	6,159
④	44	3,101	212	649	27	119	1	0	0	4,109	11	801	5	178	3	81	1,011	1,034	0	3,105	7,214
⑤	55	2,145	51	197	1	103	1	0	0	2,498	38	2,543	4	106	0	0	1,465	791	0	4,905	7,403
合計	222	14,258	1,283	2,278	143	430	5	0	0	18,397	38	4,700	21	878	8	203	8,829	5,340	0	27,720	38,347

- ①ル・コルビュジエ 光の遺産
- ②おもちゃと模型のワンダーランド
- ③2008イタリア・ボローニャ国際絵本原画展
- ④歓喜する岡本太郎
- ⑤昭和はくぶつかん

(3) プラネタリウム観覧者数

月	放映回数	有料観覧者													無料観覧者								観覧者合計			
		個人			団体割引(2割引)			減免(5割引)			減免(5割引)の団体			特別放映	有料入館者計	小中		園児		他団体		幼児		招待券	引率者	無料入館者計
		一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中			校	人数	園	人数	数	人数					
4	67	289	20	188	52	2	22	12	0	3	0	0	0	0	588	1	122	0	0	0	0	155	63	0	340	928
5	70	705	53	240	152	8	59	31	0	5	0	0	0	0	1,263	0	0	1	140	0	0	228	278	0	642	1,905
6	94	727	57	248	142	6	207	49	1	2	29	0	0	154	1,622	4	43	48	2,024	2	53	222	98	14	2,454	4,076
7	97	933	60	699	133	3	222	35	1	15	4	0	0	139	2,244	7	411	37	1,550	1	36	324	301	4	2,626	4,870
8	114	1,723	182	1,937	379	9	400	76	4	29	8	0	8	30	5,058	0	960	0	0	0	0	582	996	0	2,538	7,596
9	48	376	45	169	84	6	99	15	0	6	0	0	0	46	846	3	123	0	0	0	0	115	191	5	434	1,280
10	90	563	42	255	299	4	773	29	0	5	23	0	0	344	2,337	9	807	2	101	2	127	132	163	66	1,396	3,733
11	91	674	45	282	128	3	476	34	2	8	0	0	0	0	1,652	20	1,582	3	84	0	0	163	113	33	1,975	3,627
12	62	442	59	205	131	7	104	28	2	4	42	0	0	159	1,183	2	104	2	85	2	14	123	254	6	586	1,769
1	73	709	57	333	189	42	86	28	0	12	0	0	0	0	1,456	7	408	5	204	0	0	207	366	4	1,189	2,645
2	88	497	38	165	121	0	162	22	0	4	0	0	0	113	1,122	12	838	9	434	4	31	142	66	8	1,519	2,641
3	75	406	20	266	146	7	192	58	3	9	0	0	0	74	1,181	1	99	4	112	0	0	251	185	2	649	1,830
合計	976	8,054	678	4,987	1,956	97	2,802	417	13	102	106	0	8	1,332	20,552	66	5,497	111	4,734	11	261	2,644	3,070	142	16,348	36,900

(4) 観覧者数推移



年度(平成)	5	6	7	8	9	10	11
常設展	44,996	38,881	48,481	30,359	21,142	34,411	28,052
特別展	32,961	33,209	65,681	31,700	23,804	48,442	33,733
プラネタリウム	34,515	38,966	34,674	28,068	27,661	32,937	31,234
合計	112,472	111,056	148,836	90,127	72,607	115,790	93,019
累計	112,472	223,528	372,364	462,491	535,098	650,888	743,907

12	13	14	15	16	17	18	19	20
29,966	34,758	36,058	24,093	22,626	24,171	30,978	36,001	28,781
41,432	44,082	56,309	28,413	29,498	26,940	33,098	45,980	38,347
29,317	31,011	30,689	34,591	32,333	42,519	35,264	41,926	36,900
100,715	109,851	123,056	87,097	84,457	93,630	99,340	123,907	104,028
844,622	954,473	1,077,529	1,164,626	1,249,083	1,342,713	1,442,053	1,565,960	1,669,988

7 関係法規

四日市市立博物館条例

平成5年3月30日 条例第16号

(注)平成16年12月から改正経過を注記した。

改正 平成9年3月27日条例第3号

平成12年3月29日条例第44号

平成16年12月28日条例第55号

平成17年3月28日条例第22号

平成18年10月5日条例第45号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2及び博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 本市は、自然科学及び人文科学に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の利用に供するとともに、プラネタリウムによる天体運行等の映写を行い、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、四日市市立博物館(以下「博物館」という。)を四日市市安島一丁目3番16号に設置する。

(事業)

第3条 博物館は、前条の設置目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗、美術工芸、天文等に関する実物、複製、複写、模型、図書、図表、写真、フィルム、レコード等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示し、及び利用に供すること。
- (2) 博物館資料の利用者に対する説明、助言及び指導に関すること。
- (3) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究に関すること。
- (4) 博物館資料の保管、展示等に関する技術的研究に関すること。
- (5) 博物館資料に関する解説書、目録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (6) 博物館資料に関する講演会、研究会等を開催すること。
- (7) 他の博物館、図書館、学校その他関係機関との連絡及び協力に関すること。
- (8) プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天体観測の指導に関すること。
- (9) その他必要な事業

(観覧料)

第4条 博物館資料の展示会場へ入場しようとする者及びプラネタリウムの映写を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、心身障害者で、受付において身体障害者手帳、療育手帳又はこれらに代わるものを提示したものの観覧料の額は、別表第2に定める額とする。

一部改正(平成16年条例55号・18年45号)

(特別展示室等の使用)

第5条 四日市市教育委員会(以下「委員会」という。)は、第2条の設置目的に反せず、第3条の事業に支障のない範囲内において、展示発表等のため、博物館の特別展示室、講座室及び市民ギャラリー(以下「特別展示室等」という。)の使用を許可することができる。

2 前項の規定により、特別展示室等を使用しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

3 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を規則で定める期限までに納付しなければならない。

一部改正(平成16年条例55号・17年22号)

(特別利用の許可等)

第6条 博物館資料の熟覧、模写、模造、撮影等をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、2,100円の範囲内において規則に定める手数料を納付しなければならない。

一部改正(平成16年条例55号)

(館外貸出し)

第6条の2 博物館資料は、次の各号のいずれかに該当するときは、館外への貸出しをしない。ただし、委員会は、他の博物館、図書館、学校等適当と認めたものについて、博物館資料の館外貸出しを許可することができる。

- (1) 館外貸出しによって博物館資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると委員が認めるとき。
- (2) 現に博物館資料が展示されているとき。
- (3) その他委員会が博物館資料の館外貸出しをすることを不適当と認めるとき。

(入館等の制限)

第7条 委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、博物館への入館を拒否し、若しくは退館を命じ、又は第5条第2項及び第6条第1項の許可をしない。

- (1) 公安、風俗その他公益を害するおそれがあるとき。
- (2) 施設、附属設備等を損傷するおそれがあるとき。
- (3) その他委員会において管理上支障があると認めるとき。

(観覧料、使用料及び手数料の減免)

第8条 市長は、特に必要があると認めるときは、観覧料、使用料及び手数料を減額又は免除することができる。

(観覧料、使用料及び手数料の還付)

第9条 既納の観覧料、使用料及び手数料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(権利の譲渡等の禁止)

第10条 第5条第2項、第6条第1項及び第6条の2の規定により許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、その権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第11条 委員会は、使用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可の条件を変更し、又は使用若しくは利用を停止し、若しくは許可を取り消すことができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 許可の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (4) その他委員会において特に必要があると認めるとき。

(特別の設備等)

第12条 使用者は、既存の設備を変更し、又は特別の設備を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の承認を受けなければならない。

(原状回復の義務)

第13条 使用者は、その使用若しくは利用を終了したとき又は第11条の規定により使用若しくは利用を停止され、若しくは許可を取り消されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

2 使用者が前項の義務を履行しないときは、委員会においてこれを執行し、使用者からその費用を徴収する。

(損害賠償)

第14条 使用者は、使用若しくは利用中に建物、附属設備等を損傷又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその

損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(博物館協議会)

第15条 博物館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、法第20条第1項の規定に基づき、博物館に四日市市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者の中から、委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は、20人以内とする。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

一部改正(平成16年条例55号)

附則

(施行期日)

1 この条例は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第3条第1号(博物館資料の展示及び利用に供する部分に限る。)、第2号及び第8号並びに第4条から第14条までの規定は規則で定める日から(平成5年6月四日市市規則第33号で、同5年11月1日から施行)、次項の規定は平成5年9月1日から施行する。

(四日市市立郷土資料庫条例の廃止)

2 四日市市立郷土資料庫条例(昭和45年四日市市条例第38号)は、廃止する。

附則(平成9年3月27日条例第3号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附則(平成12年3月29日条例第44号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附則(平成16年12月28日条例第55号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成17年2月7日から施行する。

(経過措置)

7 改正後の四日市市立博物館条例第4条、別表第1及び別表第2の規定は平成17年4月1日以後の観覧から、第5条、第6条及び別表第3の規定は平成17年4月1日以降の使用許可申請に係るものから適用する。

附則(平成17年3月28日条例第22号)

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。

(経過措置)

2 改正後の四日市市立博物館条例別表第3備考の規定は、施行日以後の申請にかかるものから適用し、同日前の申請にかかるものについては、なお従前の例による。

附則(平成18年10月5日条例第45号)

この条例は、平成18年12月9日から施行する。

別表第1(第4条関係)

区分	博物館特別展示1人1回につき	プラネタリウム1人1回につき	プラネタリウム特別番組1人1回につき
一般	2,100円の範囲内で委員会が定める額	530円	2,100円の範囲内で委員会が定める額
大学生・高校生		370円	
中学生・小学生	無料	200円	

備考

1 「一般」とは、15歳以上の者(「大学生・高校生」及び中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。)をいう。

2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校その他これらに準ずる学校に在学する者をいう。

3 「中学生・小学生」とは、中学校、小学校その他これらに準ずる学校に在学する者をいう。

4 小学校就学までの者は、無料とする。

5 20人以上の団体は、1人1回につき規定料金の100分の80の額とする。この場合において、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

一部改正(平成16年条例55号・18年45号)

別表第2(第4条関係)

区分	博物館特別展示1人1回につき	プラネタリウム1人1回につき	プラネタリウム特別番組1人1回につき
一般	1,050円の範囲内で委員会が定める額	250円	1,050円の範囲内で委員会が定める額
大学生・高校生		180円	
中学生・小学生		無料	

備考

1 「一般」とは、15歳以上の者(「大学生・高校生」及び中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。)をいう。

2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校、各種学校その他これらに準ずる学校に在学する者をいう。

3 「中学生・小学生」とは、中学校、小学校その他これらに準ずる学校に在学する者をいう。

4 小学校就学までの者は、無料とする。

5 20人以上の団体は、1人1回につき規定料金の100分の80の額とする。この場合において、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

追加(平成16年条例55号)、一部改正(平成18年条例45号)

別表第3(第5条関係)

区分	午前	午後	全日
	午前9時30分から正午まで	午後1時から午後5時まで	午前9時30分から午後5時まで
特別展示室			31,500円
講座室	8,400円	12,600円	21,000円
市民ギャラリー			2,100円

備考 使用者が観覧料、受講料その他これらに類するものを徴収する場合は、上記の金額に100分の50を乗じて得た額を加算する。

一部改正(平成16年条例55号・17年22号)

四日市市立博物館条例施行規則

平成5年3月31日 教委規則第5号

(注)平成14年12月から改正経過を注記した。

- 改正 平成9年3月28日教委規則第9号
- 平成11年3月11日教委規則第4号
- 平成12年3月27日教委規則第7号
- 平成14年12月27日教委規則第11号
- 平成17年2月3日教委規則第31号

(趣旨)

第1条 この規則は、四日市市立博物館条例(平成5年四日市市条例第16号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、条例の施行について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 四日市市立博物館(以下「博物館」という。)の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、四日市市教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

一部改正(平成17年教委規則第31号)

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日とする。
- (2) 12月29日から翌年1月3日まで

一部改正(平成14年教委規則第11号)

(観覧の手續)

第4条 博物館資料の展示会場に入場しようとする者及びプラネタリウムの映写を観覧しようとする者は、観覧料の納入の際に観覧券の交付を受け、展示室及びプラネタリウム室の入口においてこれを係員に提示又は提出しなければならない。

(使用許可の申請)

第5条 条例第5条第2項の規定により、特別展示室等の使用の許可を受けようとする者は、四日市市立博物館使用許可申請書(第1号様式。以下「申請書」という。)により委員会に申請しなければならない。

2 前項の申請の受付は、使用しようとする日(引き続き2日以上使用しようとする場合は、その最初の日をいう。以下「使用日」という。)の属する月の初日前6月からとする。

3 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、前項に定める期間前に受付できるものとする。

- (1) 四日市市又は委員会が行う事業又は主催する行事に使用するとき。
- (2) その他委員会が特に必要があると認めるとき。

4 第1項に規定する申請書の受付時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、休館日の受付は行わない。

(使用の許可)

第6条 委員会は、前条第1項の使用許可の申請について適当と認めるときは、使用の許可を決定し、四日市市立博物館使用許可書(第2号様式。以下「許可書」という。)を申請者に交付するものとする。

2 博物館の使用について許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、博物館使用の際に、前項の許可書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(使用の変更及び取消し)

第7条 使用者は、許可書に記載された事項を変更し、又は施設の使用を取り消そうとするときは、四日市市立博物館

使用変更(取消)許可申請書(第3号様式)に許可書を添えて委員会に提出しなければならない。

2 委員会は、前項の規定により使用の変更又は取消しを許可したときは、四日市市立博物館使用変更(取消)許可書(第4号様式。以下「変更(取消)許可書」という。)を申請者に交付するものとする。

一部改正(平成17年教委規則第31号)

(附属設備の名称及び使用料の額)

第8条 博物館の附属設備の使用料の額は、別表第1に定める額とする。

一部改正(平成17年教委規則第31号)

(使用料の納付)

第9条 使用者は、使用の許可と同時に使用料を納付しなければならない。

2 官公署が使用する場合にあっては、前項の規定にかかわらず、別に納付期限を定めることができるものとする。

(観覧料の減免)

第10条 条例第8条の規定に基づく観覧料の減額又は免除の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 四日市市及び三重郡に所在する学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する小学校、中学校の児童、生徒が学校教育の一環として教職員に引率されて常設展示、プラネタリウム及び特別展示を観覧するとき。10割
- (2) 博物館が開催する特別展示を観覧料を納付して観覧したものが、引き続き常設展示を観覧するとき。10割
- (3) その他委員会が特別の事由があると認めるとき。その都度委員会が定める割合

2 前項の場合において、減額後の額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

3 第1項第1号に定める観覧料の減免を受けようとする者は、四日市市立博物館観覧料減免申請書(第5号様式)に、減免を必要とする理由を記し、委員会に申請しなければならない。

一部改正(平成17年教委規則第31号)

(優待券等)

第11条 委員会が特に必要と認めるときは、優待券、招待券及び特別展示前売観覧券を発行することができる。

(使用料の還付)

第12条 条例第9条ただし書の規定により使用料を還付する場合及び還付する額は、次に掲げるとおりとする。

還付する場合	還付する額
ア 災害等特別の事由により、使用者の責めによらない場合において使用できなかったとき。	使用料の全額
イ 使用者が使用日の前7日以前に使用許可の取消しを申請し、許可されたとき。	既納の使用料から取消料(使用料から消費税及び地方消費税に相当する額を除いた額の100分の50に相当する額。ただし、10円未満の端数が生じた場合は、これを四捨五入した額とする。)を差し引いた額

2 使用者が第7条の規定により博物館の使用の変更を許可された場合において、既納の使用料に過納金が生じたときは、これを還付するものとする。

3 前2項の規定により使用料の還付を受けようとする者は、四日市市立博物館使用料還付申請書(第6号様式)に第1項表アの場合にあっては許可書と使用料領収書、同項表イ及び前項の場合にあっては変更(取消)許可書と使用料領収

書を添えて委員会に申請しなければならない。

- 4 委員会は、前項の申請を受理し、還付を決定したときは、四日市市立博物館使用料還付決定通知書(第7号様式)を申請者に交付するものとする。

一部改正(平成17年教委規則31号)

(使用者の遵守事項)

第13条 博物館に入館する者、使用者及び条例第6条第1項の規定により許可を受けた者(以下「使用者等」という。)は、条例及びこの規則に定めるもののほか、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 使用を許可されていない施設を使用し、又は立ち入らないこと。
- (2) 所定の場所以外で喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (3) 許可を受けずに張り紙をし、又はくぎ類を打ち、建物その他の物品をき損又は汚損するおそれのある行為をしないこと。
- (4) 騒音を発し、暴力を用いるなど他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (5) その他委員会が定める事項及び係員の指示に従うこと。

(職務上の立入り)

第14条 使用者等は、係員の職務上の立入りを拒んではならない。

(施設等の損傷の届出)

第15条 使用者等は、施設、附属設備等を損傷又は滅失したときは、直ちに理由を付して委員会に届け出なければならない。

(使用後の届出及び点検)

第16条 使用者等は、条例第13条の規定により施設、設備等を原状に復したときは、速やかに委員会に届け出るとともに、その点検を受けなければならない。

(特別利用の許可の申請)

第17条 条例第6条第1項の規定に基づき、特別利用の許可を受けようとするものは、四日市市立博物館資料特別利用許可(減免)申請書(第8号様式)を委員会に提出しなければならない。

2 委員会は特別利用の許可をしたときは、四日市市立博物館資料特別利用許可書(第9号様式)を交付するものとする。

3 四日市市立博物館資料特別利用許可書の交付を受けたものは、直ちに条例第6条第2項に基づく手数料を納付しなければならない。

4 前項に定める手数料の額は、別表第2に定める額とする。

一部改正(平成17年教委規則31号)

(手数料の減免)

第18条 条例第8条の規定に基づく手数料の減額又は免除の範囲は、辞のとおりとする。

- (1) 市、県又は国若しくは他の地方公共団体が行う教育、学術若しくは文化の事業又はこれらの事業の普及の用途に供することを目的とするとき。10割
- (2) 私立の博物館、図書館、学校等が行う教育又は研究の用途に供することを目的とするとき。10割
- (3) 主に学術研究の用途に供することを目的とするとき。10割
- (4) その他委員会が特別の事由があると認めるとき。その都度委員会が定める割合

2 前項の場合において、減額後の額に10円未満の端数が生じたときは、これを四捨五入するものとする。

3 第1項に定める使用料の減免を受けようとする者は、四日市市立博物館資料特別利用(減免)申請書(第8号様式)に、

減免を必要とする理由を記し、委員会に申請しなければならない。

一部改正(平成17年教委規則31号)

(特別利用の制限)

第19条 次の各号のいずれかに該当するときは、特別利用の許可をしない。

- (1) 特別利用によって博物館資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると委員会が認めるとき。
- (2) 現に博物館資料が展示されているとき。
- (3) 寄託された博物館資料で寄託者の同意を得ていないとき。
- (4) 著作権がある博物館資料で著作者の承諾を得ていないとき。
- (5) その他委員会が特別利用をすることが不適当と認めるとき。

(館外貸出しの許可等)

第20条 条例第6条の2ただし書きの規定により、博物館資料の館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ四日市市立博物館資料館外貸出許可申請書(第10号様式)を委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

2 委員会は、博物館資料の館外貸出しを認めた場合は、四日市市立博物館資料館外貸出許可書(第11号様式)を交付するものとする。

3 博物館資料の館外貸出しの期間は、1月以内とする。ただし、委員会が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(協議会の委員長及び副委員長)

第21条 条例第15条に規定する四日市市立博物館協議会(以下「協議会」という。)に、委員長及び副委員長を置き、それぞれ委員の互選によって選出する。

2 委員長及び副委員長の任期は、委員としての在任期間とする。

3 委員長は、協議会の会務を総理し、協議会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第22条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、定例会及び臨時会とし、定例会は、年2回、臨時会は必要に応じて開催する。

2 会議は、委員長が召集し、委員長がその議長となる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第23条 協議会の庶務は博物館において処理する。

(補則)

第24条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

一部改正(平成17年教委規則31号)

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第2条から第20条までの規定は、条例附則ただし書きに規定する規則で定める日から、次項の規定は、平成5年9月1日から施行する。

(四日市市立郷土資料庫条例施行規則の廃止)

2 四日市市立郷土資料庫条例施行規則(昭和45年四日市市教育委員会規則第5号)は、廃止する。

附 則(平成9年3月28日教委規則第9号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成 11 年3月 11 日教委規則第4号)

この規則は、平成 11 年4月 1日から施行する。

附 則(平成 12 年3月 27 日教委規則第7号)

この規則は、平成 12 年4月 1日から施行する。

附 則(平成 14 年 12 月 27 日教委規則第 11 号)

この規則は、平成 15 年4月 1日から施行する。

附 則(平成 17 年2月 3日教委規則第 31 号)

(施行期日)

1 この規則は、平成 17 年2月 7日から施行する。ただし、四日市市立博物館条例施行規則第2条の改正は、平成 17 年4月 1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の四日市市立博物館条例施行規則第8条、第 12 条、第 17 条、第 18 条、別表第1及び別表第2の規定は、平成 17 年4月 1日以後の使用又は利用許可申請に係るものから適用する。

別表第1(第8条関係)

区分	使用料(一回一式)
16 ミリ映写機	2,100 円
スライド映写機	1,050 円
プロジェクター	1,050 円

一部改正(平成 17 年教委規則 31 号)

別表第2(第 17 条関係)

区分	手数料(一点一日)
熟覧	320 円
模写	1,050 円
拓本	1,050 円
撮影	1,050 円

施設概要

所在地 〒510-0075

三重県四日市市安島一丁目3番16号

電話 059-355-2700(代)

FAX 059-355-2704

施設規模	敷地面積	1,845.840 m ²
	建設面積	1,590.397 m ²
	延床面積	10,147.108 m ²
	建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
		地下2階地上6階
	建物の高さ	38.075m
	建物イメージ	歴史(石を用いた古典的な様式)
		現代(石、土ものの自然素材と金属、ガラスなどの組み合わせによる新旧共存)
		未来(金属板の仕上げ =プラネタリウム)
	色彩イメージ	
	1階	海 青
	2階	大地 橙
	3階	草花 黄
	4階	山脈 緑
	5階	空(宇宙) シルバーメタリック
	地域・商区	
		商業地域・防火地域
		建ぺい率100%(耐火)、容積率600%

主な室名と面積

●展示・教育部門		2,156.155 m ²
常設展示室	2階	564.691 m ²
〃	3階	454.618 m ²
特別展示室	4階	594.798 m ²
ラウンジ	2～4階	281.02 m ²
情報コーナー	1階	118.81 m ²
講座室	1階	142.218 m ²
●収蔵部門		1,256.23 m ²
第1収蔵庫	地下2階	243.29 m ²
〃 前室	地下2階	38.88 m ²
第2収蔵庫(恒温恒湿)	地下1階	282.17 m ²
第3収蔵庫	地下1階	384.496 m ²
〃 前室	地下1階	76.086 m ²
荷解室	1階	231.308 m ²
●研究部門		430.207 m ²
作業室	2階	60.464 m ²
資料整理室	地下1階	84.37 m ²
文献資料室	3階	37.952 m ²
資料評価室	4階	33.3 m ²
燻蒸室	地下1階	43.07 m ²
スタジオ暗室	地下1階	87.51 m ²
ビデオ編集室	地下1階	16.882 m ²
第2会議室	4階	37.952 m ²
第3会議室	3階	28.707 m ²
●プラネタリウム部門		1,714.282 m ²
客席(ドーム)	5・6階	565.017 m ²
天文学習室	5階	59.081 m ²

天文展示コーナー	5階	194.763 m ²
天文係事務室	5階	59.326 m ²
空調機械室	5・6階	836.095 m ²
●管理・一般部門		4,590.234 m ²
事務室	3階	105.059 m ²
館長室	2階	37.001 m ²
第1会議室	2階	50.422 m ²
ミュージアムショップ	1階	28.723 m ²
警備室	1階	20.812 m ²
中央監視室	地下2階	44.064 m ²
設備機械室	地下2階	486.190 m ²
電気室、発電機室	地下2階	240.152 m ²
倉庫、展示備品庫など		3,577.811 m ²

プラネタリウム(1,714 m²)

ドーム径18.5m 傾斜型(斜度20度) 164席

GSSヘリオス(五藤光学研究所)

7.4等星 25,000個の恒星が投影可能

分離型惑星投映機 9台

スカイライン投映機(80+80シーン)

マルチイメージシステム

マルチサウンドシステム

全天周映画 可能

アストロビジョン70(10パーフォーレーション)

プラネタリウムとの同期可能(ショートフィルム)

主な施工業者

建築	(株)鴻池組 三菱建設(株) 丸藤建設(株)
電気	(株)電工社 四日市電機(株)
設備機械	須賀工業(株) ダイダ(株) 三東工業所
プラネタリウム	(株)五藤光学研究所
建築設計	(株)石本建築事務所
展示設計	(有)ササキ企画
展示	商工美術(株)
展示映像	中部松下システム(株)
ハイビジョン	中部松下システム(株)
陶壁	萬古環境造形体

設備概要

●空調設備

1. 空調熱源機器設備

①スクリーン冷凍機

(冷房能力293,000Kcal/h[97URST])

暖房能力254,000Kcal/h)

2基

②スクリーン冷凍機用空気熱交換機

2基

送風機(低騒音型3,400 m³/min)

3台

③蓄熱槽

2. 空調、換気及び排煙機器設備

①空調機

エアーハンドリングユニット

9基

パッケージ型空調機

30基

ファンコイルユニット

20基

全熱交換機

5基

②送、排風機

シロッコファン

2基

軸流ファン

8基

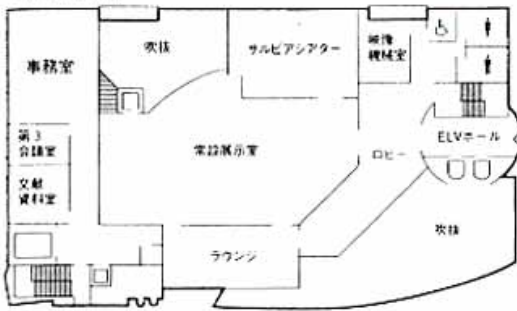
ラインファン

13基

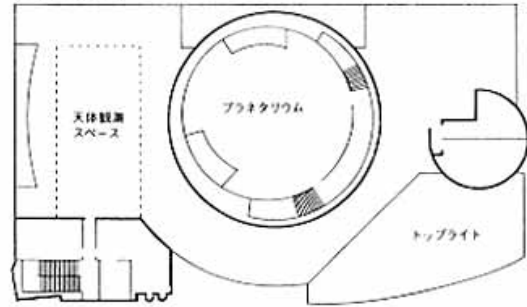
消音ボックス付ラインファン	20 基	CCD	1 台
デリベントファン	1 基	モニターテレビ	5 台
排煙ファン	3 基	③防火扉	47 箇所
排煙口	25 基	④防火・防炎シャッター	32 箇所
3. その他機器		⑤排煙口	28 箇所
①フィルターユニット		●電気設備	
外気新鮮空気処理ユニット	3 基	①受電電圧 交流 3 相 3 線式 660V 60Hz	
②消音マフラーユニット	9 基	②変圧器	
③その他付属設備	一式	動力用	
4. 空調配管設備		3 相 6.6KV/210V 300KVA	1 台
①空調用ポンプ	14 基	3 相 6.6KV/210V 500KVA	1 台
②冷温水 2 次ポンプ可変速制御盤	1 基	3 相 6.6KV/210V 150KVA	2 台
③冷水ヘッダー	2 基	3 相 6.6KV/440V 500KVA	1 台
④温水ヘッダー	2 基	電灯用	
⑤冷温水用防蝕装置	4 基	1 相 6.6KV/210V/105V 300KVA	2 台
⑥その他付属設備	一式	1 相 6.6KV/210V/105V 100KVA	1 台
●給排水衛生設備		③自家用発電機	
1. 給水設備		6 気筒 4 サイクルディーゼル機関	
①ポンプ 揚水ポンプ	2 基	480Ps 1200rpm	1 台
②受水槽 有効容量 12.7 m ²		3 相交流同期発電機 400KVA 6600V	1 台
(2 分割-複合盤)	1 基	④電線路電圧 6600V 440V 210V 105V	
③高架水槽 有効容量 6.3 m ²		⑤電気室 高低圧配電盤	19 面
(2 分割-SUS444) 保温	1 基	動力制御盤	15 面
④電機湯沸器 貯湯量 10 ㍓	3 基	電灯分電盤	21 面
⑤ウォータークーラー		端子盤	12 面
壁埋込式、ステンレス製	2 基	⑥低圧回路	
冷水能力 301/㍓	2 基	⑦低圧負荷設備	
⑥その他付属設備	一式	電動機合計容量 1, 123. 023KW	130 台
2. 排水設備		電灯コンセント合計容量 476KVA	2, 115 個
公共下水道接続箇所		⑧直流電源装置	
①湧水排水ポンプ	6 基	100V 非常照明用 発電設備機器操作用	
②雑水排水ポンプ	2 基	全自動サイリスター式整流器	
③雨水排水ポンプ	2 基	(入力 交流 3 相 200V 60Hz	
●燻蒸設備(真空殺虫殺菌装置)	3. 15 m ²	直流出力電流 50A 3 相全波整流)	1 面
●消防設備		蓄電池 ペースト式高率放電用鉛蓄電池	
①屋内消火栓ポンプ	1 基	2V×54 セル	
②屋内消火栓設備		⑨交流無停電電源装置	
屋内消火栓箱	12 基	100V 中央監視装置用	
屋内消火栓箱(併設型)	4 基	商用同期常時インバーター給電方式	
③連結散水設備 閉鎖型(8 系統)	一式	(交流入出力 単相 2 線式 100V 60Hz	
④ハロン消火設備 7 系統		出力容量 5KVA)	
(特別展示室、第 1・2・3 収蔵庫、		⑩電気時計 水晶発信式 6 回路	
前室、電気室、発電機室)	一式	親時計 1 台 子時計 41 台	
⑤救助袋 3-5 階	6 台	⑪放送設備 防災アンプ 480W	20 回路
⑥自動火災報知設備		⑫電話設備 デジタル電子交換機	一式
差動スポット感知器	6 個	多機能電話機	15 台
定温スポット感知器	14 個	一般電話機	37 台
煙感知器	384 個	⑬テレビ共聴設備 CATV 引込(CTY)	
炎感知器	4 個	⑭中央監視設備	
⑦非常放送設備	一式	SAVIC-NET50 による監視システム	
⑧消火器	38 本	●エレベータ	
⑨誘導灯設備 避難口誘導灯	54 台	1. 2 号 乗用(展望用) 定員 17 名 1150Kg 90m/分	
通路誘導灯	39 台	3 号 乗用 定員 11 名 750Kg 105m/分	
客席誘導灯	22 台	4 号 人荷用 定員 67 名 4400Kg 30m/分	
⑩その他付属設備		5 号 乗用 定員 11 名 750Kg 30m/分	
●防犯設備		●その他設備 昇降リフト(2 ㍓、荷解室)	1 台
①防犯設備 熱感センサー	46 個	ゴンドラ(ガラス清掃用)	2 台
②監視カメラ 1-4 階 カラードーム型	16 台	自動扉	4 箇所

館内見取図

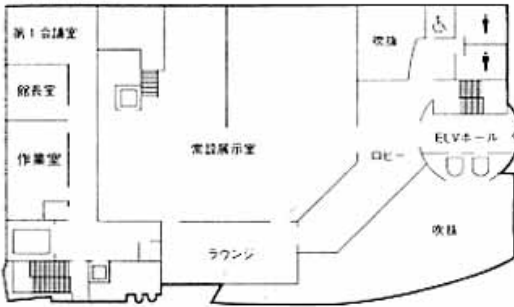
3階平面図



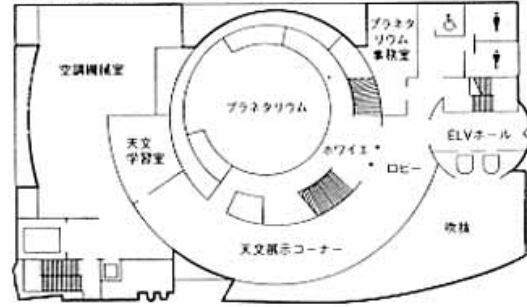
6階平面図



2階平面図



5階平面図



1階平面図



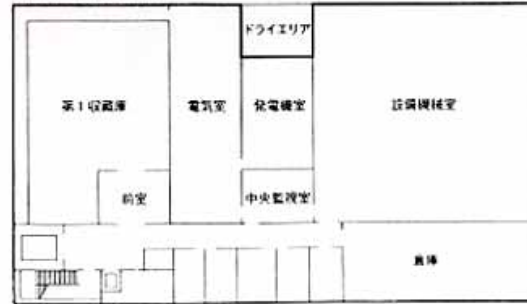
4階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図



●設計概要

敷地は、旧四日市工業高等学校跡地の一角で、街区内には、都市公園を介して地場産業振興センター、アムスクエア(現ララスクエア)などがあり、それらとの調和を図る必要があった。そこで、形態的には都市公園を介してオープンなアトリウムで呼応しあう関係を生み出し、色調的にはアムスクエアのグレイッシュピンクと補色関係にあり、色の映える淡緑青色を基調としている。

外観デザインとしては、博物館とプラネタリウムという複合した機能を持つ建物の性格上、「過去」(歴史)、「現在」、「未来」(宇宙)の調和をテーマとしている。そのことは、基壇部において花崗岩のジェットバーナー仕上げで歴史の積層をイメージし、胴部において割肌タイルにより工業化が進んだ現代だからこそ逆に求められる手造り的なあたたかさ、やさしさを表現し、頂部においてステンレスの球体を一部露出させ、未来的、宇宙的なイメージを喚起して、それらの三層構成による対比と調和を図っている。また、都市公園に面する東側はボリュームの大きさからくる威圧感を低減するために、面を分節化し、水平線を強調したガラスのカーテンウォール、地上の緑が階段状に延長した濃緑色の石貼部、太陽光線をイメージした黄色の垂直線、コンビナートのメタファーとしての金属のパイプや球体により、リズムカルで変化のある構成としている。

内部機能構成としては、地下部分に収蔵部門、1階にエントランス、2～4階に博物館部門、5、6階にプラネタリウム部門を収め、地上部分に5層吹抜のアトリウムを設けることにより積層化した施設の空間的な一体感を生み出す計画としている。また、都市公園に対してオープンな構成とし、それを借景として利用することで空間的な広がりを持たせている。

(石本建築事務所)

利用案内

●博物館を彩る施設 (無料利用できる部分)

□エントランスホール (1階)

入口を入ると5階まで吹き抜けているアトリウムとシースルーエレベータが目を引きまします。ここは誰でも入れる自由空間。待ち合わせに最適な場所です。



□情報コーナー (1階)

4台のモニターで、四季にわたり四日市各地に伝わる伝承行事を入館者が自由に見ることができます。また、歴史・自然・美術工芸などの書籍も自由に閲覧できます。

□ミュージアムショップ (1階)

来館の思い出となる記念品や、市・博物館が刊行する図録等の書籍を販売。鉱物や化石、星座グッズなども取りそろえています。



□陶壁 (2階ロビー)

四日市市の歴史、美術資料の展示効果と現代建築における陶の材質美との調和を図るため、通路を歩く人の動きとともに画面が変化する一種のだまし絵的效果を意図した。(高さ2.5m 幅5.0m)

A面：歌川広重作 東海道五十三次「四日市の図」

B面：歌川國貞作 末広五十三次「蜃気楼の図」

これらを四日市萬古焼の伝統技法により焼成。

制作：萬古環境造形体

□常設展示室 (2階・3階)